

神戸市生活保護医療扶助関連事業実施計画（データヘルス計画）
（令和 2 年度～令和 7 年度）

中間評価（令和 4 年度）

令和 5 年 3 月
神戸市福祉局保護課

目次

1. 基本的事項	1
(1) 計画の趣旨	1
(2) 計画期間および事業の実施	2
(3) 中間評価	2
(4) 集計対象	2
(5) 本計画における用語の定義	2
2. 神戸市生活保護の状況	3
(1) 被保護者世帯数及び人員の推移	3
(2) 世帯人員別世帯数の推移	4
(3) 世帯類型（構成比）の推移	5
(4) 年齢別被保護人員の推移	6
3. 医療費・疾病の状況	7
(1) 生活保護の医療費等の推移	7
(2) レセプト 1 件あたり医療費の推移	8
(3) 制度別の 1 人あたり医療費	9
(4) 疾病別の医療費（疾病大分類）	10
(5) 疾病別の医療費（疾病中分類）	12
(6) 疾病別の医療費（疾病中分類：主病名のみ集計）	14
(7) 生活習慣病の医療費	17
(8) 年代別にみた生活習慣病等の医療費	18
(9) 被保護者の医療機関受診状況	24
(10) 糖尿病の重症度別の医療費及び患者数の状況	25
(11) 人工透析・糖尿病合併症の状況	26
(12) 歯科レセプトと糖尿病の関連状況	27
(13) 悪性新生物による医療機関受診率	28
(14) 糖尿病と悪性新生物の関係	30
(15) 入院外の 1 か月間における受診日数および医療機関数	31
(16) 疾病別受診日数の状況	32
(17) 複数医療機関の受診状況	34
(18) 重複処方状況	37
(19) ジェネリック医薬品の使用状況	39
(20) 入院レセプトの状況	40
4. 健康診査の状況	45
(1) 健康診査の受診状況	45
(2) 有所見者の割合	46
(3) 肥満・非肥満におけるリスク保有状況	47
(4) 慢性腎臓病（CKD）リスク者の状況	48
5. まとめ	49
6. 計画に基づく保健事業の中間評価	51
(1) 健診受診勧奨	51

（２）医療機関受診勧奨	52
（３）生活習慣病重症化予防	53
（４）その他の取り組み	54
7. データヘルス計画策定時の課題と中間評価を踏まえた今後の方向性	55
8. データヘルス計画の推進及び計画の見直し	57
（１）最終評価及び計画の見直し	57
（２）中間評価の公表・周知	57
（３）個人情報の保護	57

1. 基本的事項

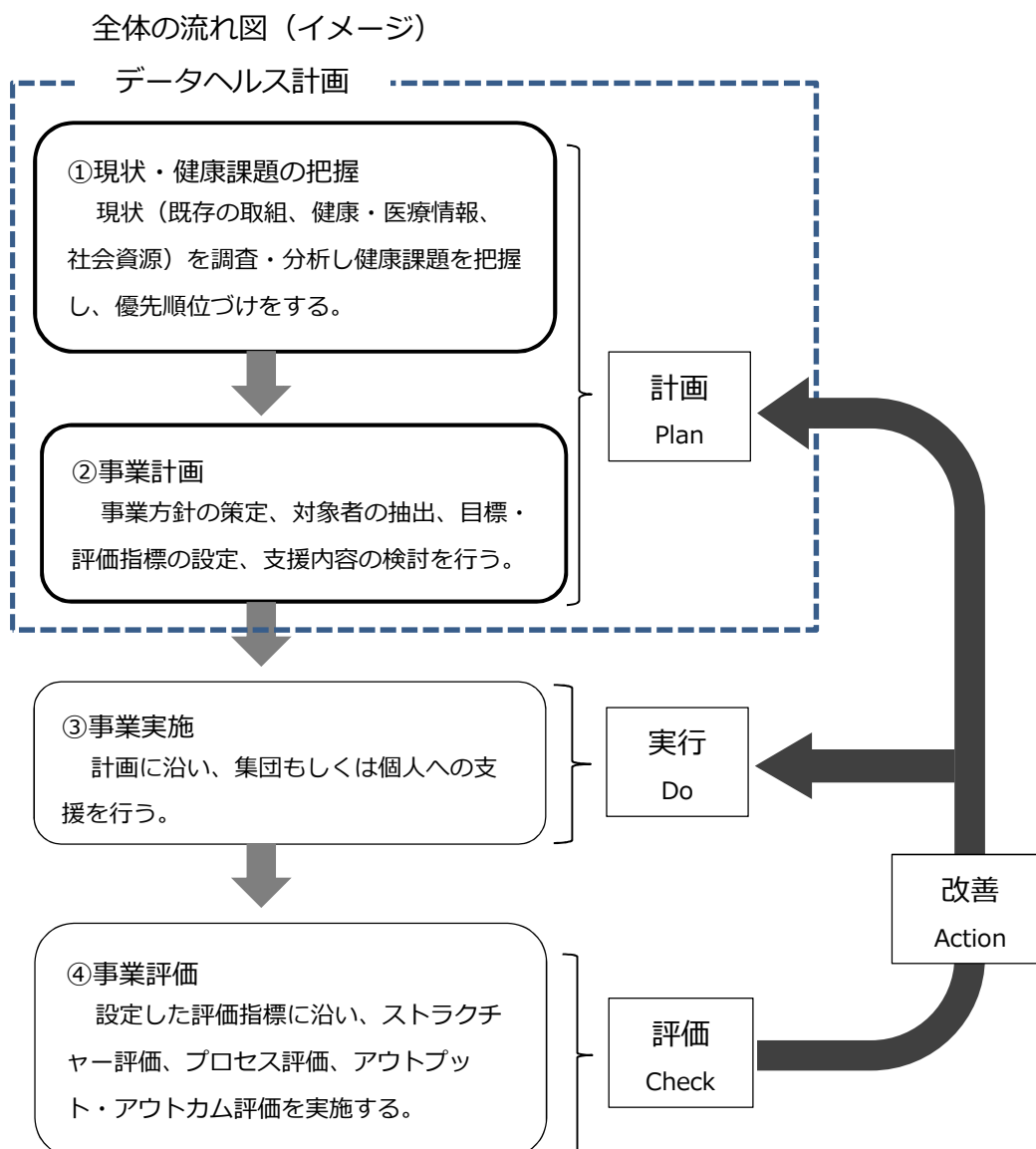
(1) 計画の趣旨

神戸市生活保護医療扶助関連事業実施計画（データヘルス計画）は、福祉事務所が生活保護受給者のために、生活習慣病の発症予防・重症化予防対策を中心に、きめ細かな健康管理支援等が実施できるよう体制を構築し、医療データ分析による課題抽出とその解決に向けた事業を計画・実施することで生活保護受給者の自立と医療扶助適正化を目指すものである。

データに基づいた生活習慣病の予防・重症化予防の推進

- ・生活習慣病の予備群と治療中の者に対するデータに基づく健康管理支援の実施
- ・データヘルス実施のためのインフラの整備、健康・医療データ分析の仕組みの構築

図表1 データヘルス計画におけるPDCAサイクル



（２）計画期間および事業の実施

データヘルス計画の計画期間は、令和２年度から令和７年度までの６年間とする。

令和元年度	計画策定（現状分析、課題の整理、事業計画および実施目標の設定）
２年度～	事業実施
４年度	中間評価
７年度	事業の達成状況の評価、次期計画の策定

（３）中間評価

本年度（令和４年度）はデータヘルス計画の中間評価として、神戸市生活保護医療扶助における医療費や疾病構造、健康診査の現状について確認をする。また計画に基づく事業についても、その実績値から、目標値までの達成状況や計画策定時点での課題解決に向けての進捗状況等を評価することによって、最終年度である令和７年度に向けて、事業継続の必要性を確認し、場合によっては見直し（中止）を行う。

（４）集計対象

過去の推移の分析が必要なものについては３年分のレセプト、直近の状況の把握が必要なものについては、令和３年度のレセプトを集計対象としている。

①集計期間（３年分）

令和元年５月審査～令和３年４月審査までの３年分を診療年月単位で集計

②集計期間（単年度）

令和３年５月診療分～令和４年４月診療分を集計対象としている。また、国保も同様の期間を集計して比較している。

③医療費の集計

疾病別医療費は各レセプトの主たる疾病に集約して計上。そのため、疾病別医療費において重複計上は発生しない。また、社会保険など他公費負担のある者についても、患者の負担割合に関わらず、レセプトの総点数を集計対象としている。

④集計対象の疾病

医療費以外の集計（患者数等）については、特に記載のない限りレセプト内の全疾病（疑い病名を除く）について集計としている。

⑤自立支援医療

疾病大分類や疾病中分類などでは、被保護者の全体の疾病傾向を見るため、医療扶助の支給はしていないが、自立支援医療のレセプトを集計対象に入れている。

（５）本計画における用語の定義

医療扶助：生活保護単独および社会保険併用による医療扶助

国保：神戸市国民健康保険

自立支援医療：更生医療、精神通院医療レセプト（本計画では主に生活習慣病に関する集計を行うため、育成医療については集計対象外としている。）

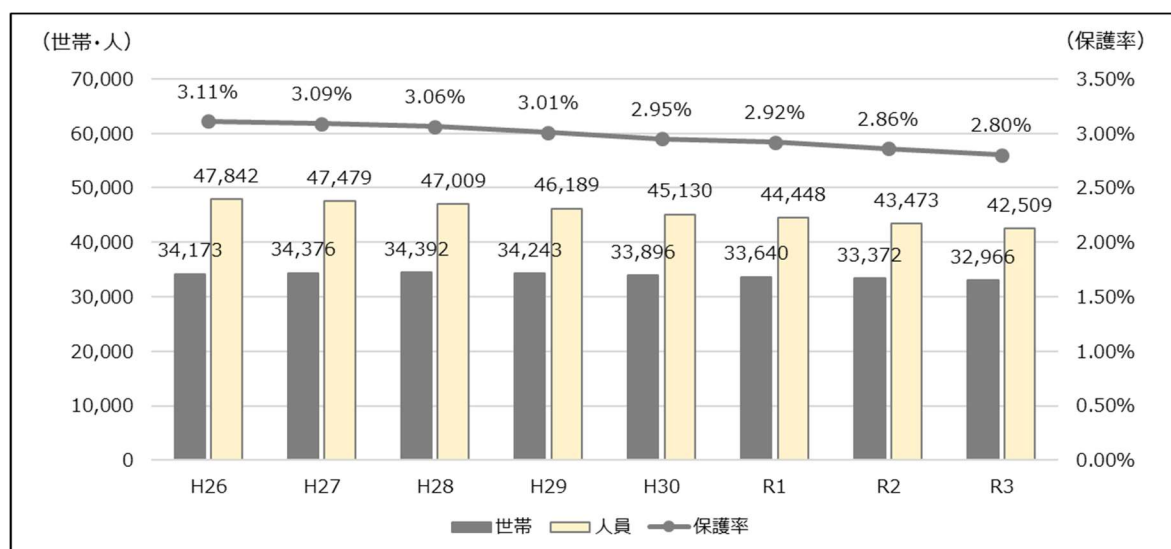
2. 神戸市生活保護の状況

(1) 被保護者世帯数及び人員の推移

神戸市の令和3年の生活保護被保護世帯は32,966世帯、人員は42,509人であり、保護率は2.80%となっている。被保護世帯、人員、保護率ともに平成28年以降、減少傾向にある。

図表2 被保護者世帯数及び人員の推移

		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
総人口	世帯	694,954	699,873	710,336	714,794	718,274	722,011	726,204	738,353
	前年比	100.7%	100.7%	101.5%	100.6%	100.5%	100.5%	100.6%	101.7%
	人口	1,538,267	1,535,947	1,537,257	1,533,321	1,528,458	1,523,518	1,518,283	1,520,712
	前年比	99.8%	99.8%	100.1%	99.7%	99.7%	99.7%	99.7%	100.2%
被保護 実数	世帯	34,173	34,376	34,392	34,243	33,896	33,640	33,372	32,966
	前年比	100.3%	100.6%	100.0%	99.6%	99.0%	99.2%	99.2%	98.8%
	人員	47,842	47,479	47,009	46,189	45,130	44,448	43,473	42,509
	前年比	99.1%	99.2%	99.0%	98.3%	97.7%	98.5%	97.8%	97.8%
	保護率	3.11%	3.09%	3.06%	3.01%	2.95%	2.92%	2.86%	2.80%



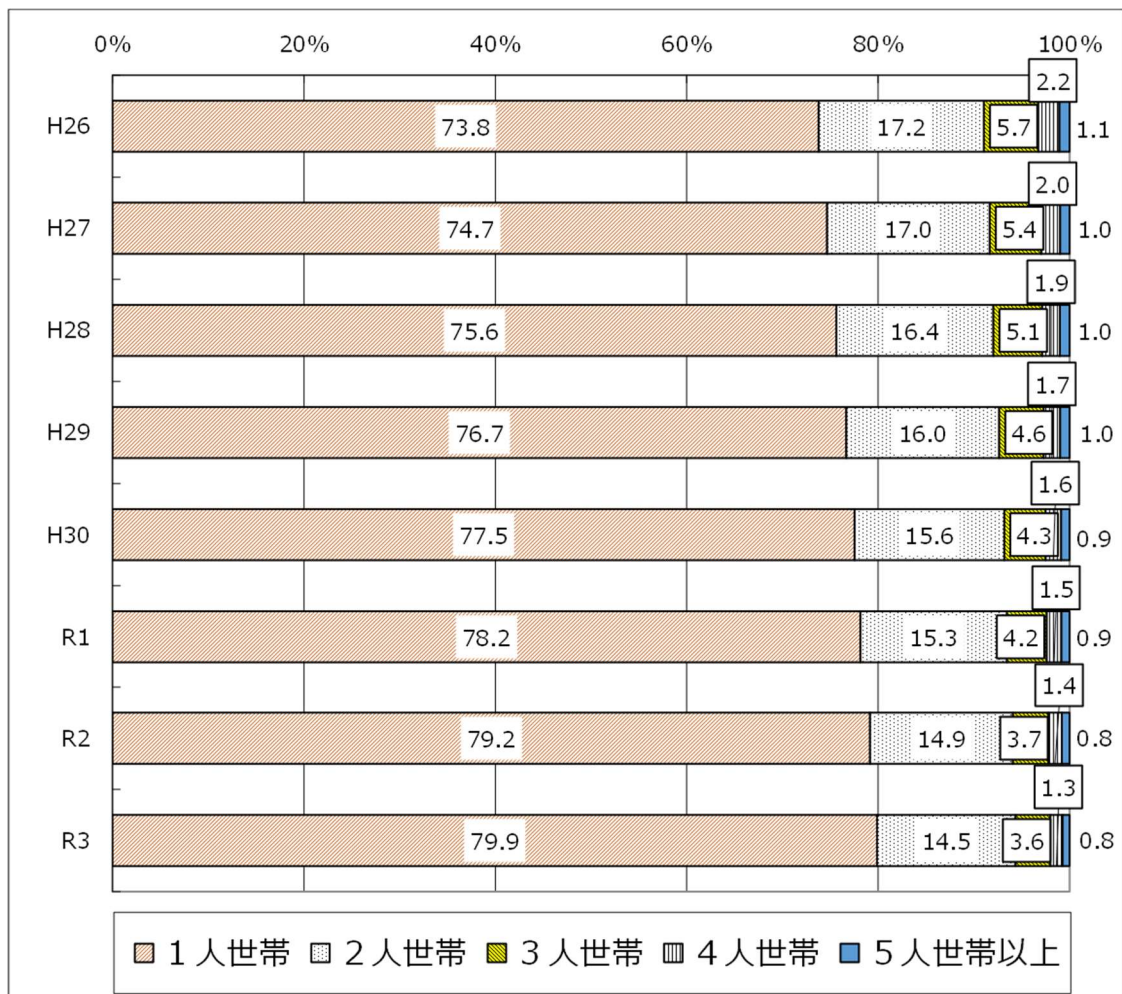
出典：神戸市における保護動向分析（令和3年）

(2) 世帯人員別世帯数の推移

令和3年の世帯人員別世帯数では、1人世帯が全体の79.9%を占めている。1人世帯割合は年々上昇している。

図表3 世帯人員別世帯数の推移

	世帯人員(人)							
	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上	計
H26	25,216	5,894	1,940	758	246	87	32	34,173
H27	25,667	5,838	1,851	675	233	76	36	34,376
H28	26,009	5,646	1,749	641	236	75	36	34,392
H29	26,253	5,470	1,590	594	225	75	36	34,243
H30	26,282	5,304	1,459	546	207	67	31	33,896
R1	26,291	5,148	1,402	505	189	70	35	33,640
R2	26,420	4,976	1,240	461	177	60	38	33,372
R3	26,340	4,769	1,196	413	154	62	32	32,966



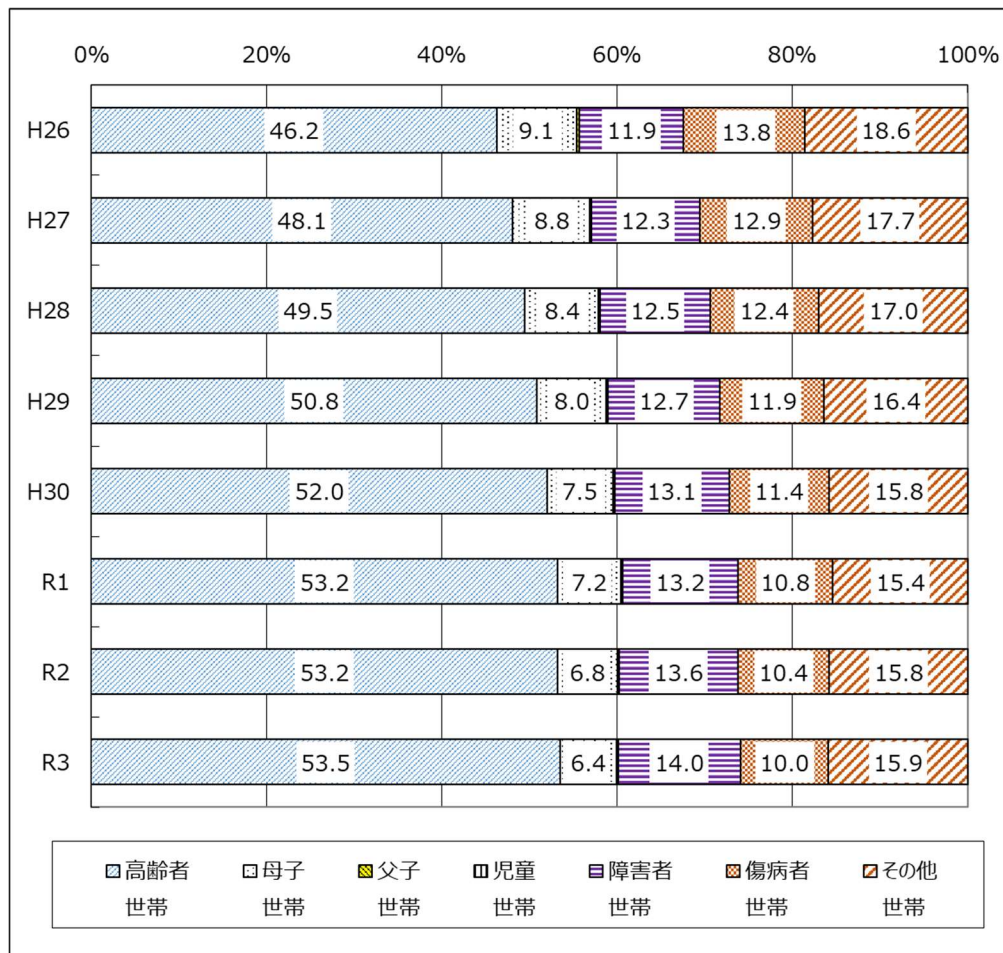
出典：神戸市における保護動向分析（令和3年）

(3) 世帯類型（構成比）の推移

令和3年の世帯類型（構成比）は、高齢者世帯が53.5%と全体の過半数を占める。高齢者世帯は平成26年以降増加傾向が継続している。その他の世帯類型では、障害者世帯の割合が増加傾向にある一方で、母子世帯、傷病者世帯は減少傾向にある。

図表4 世帯類型(構成比)の推移

	世帯類型（構成比(%)）						
	高齢者世帯	母子世帯	父子世帯	児童世帯	障害者世帯	傷病者世帯	その他世帯
H26	46.2	9.1	0.3	0.0	11.9	13.8	18.6
H27	48.1	8.8	0.2	0.0	12.3	12.9	17.7
H28	49.5	8.4	0.2	0.0	12.5	12.4	17.0
H29	50.8	8.0	0.2	0.0	12.7	11.9	16.4
H30	52.0	7.5	0.2	0.0	13.1	11.4	15.8
R1	53.2	7.2	0.2	0.0	13.2	10.8	15.4
R2	53.2	6.8	0.2	0.0	13.6	10.4	15.8
R3	53.5	6.4	0.2	0.0	14.0	10.0	15.9



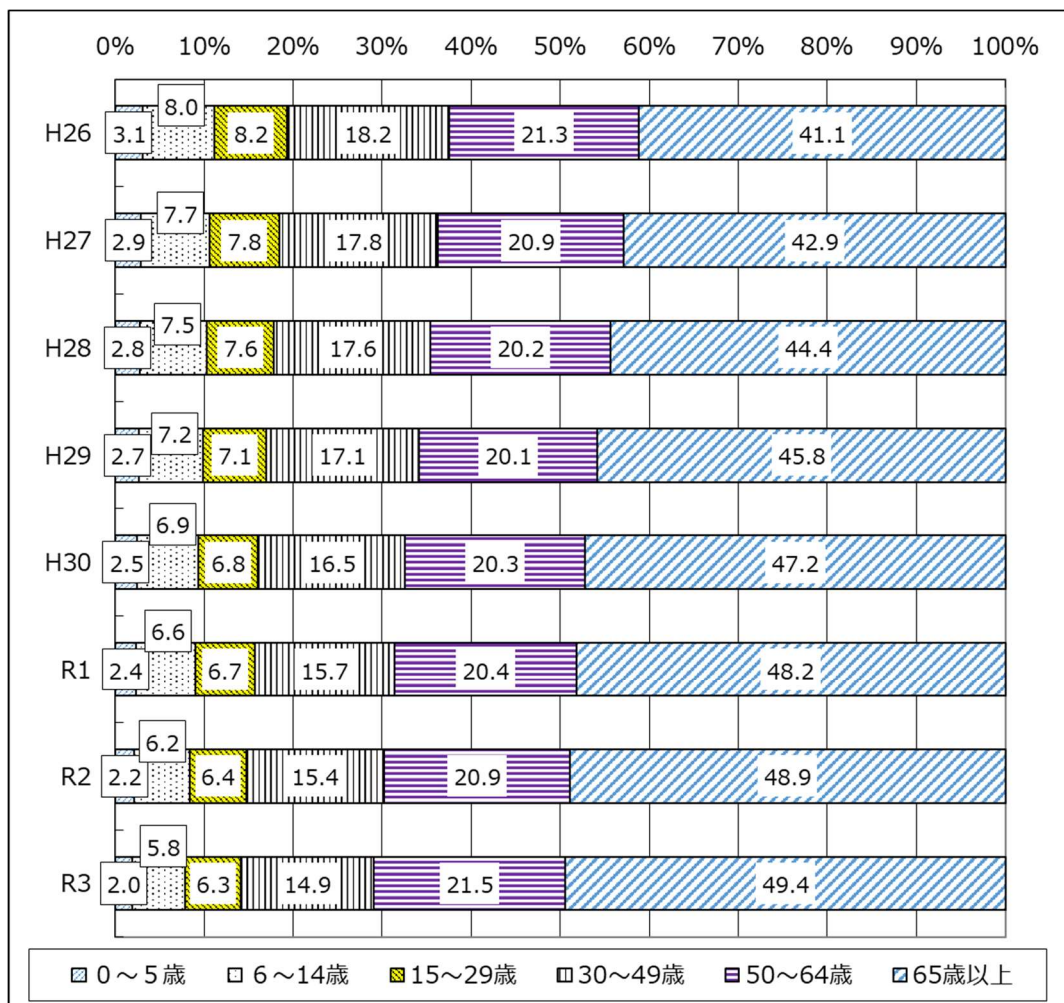
出典：神戸市における保護動向分析（令和3年）

(4) 年齢別被保護人員の推移

令和3年の年齢別被保護人員は、65歳以上が49.4%と全体の半数近くを占める。65歳以上が占める割合は平成26年以降増加傾向が継続している。さらに、50～64歳が平成29年度より増加傾向に転じている。その他の年代は相対的に減少傾向にある。

図表5 年齢別被保護人員構成比の推移

	年齢別（人）						計
	0～5歳	6～14歳	15～29歳	30～49歳	50～64歳	65歳以上	
H26	1,480	3,837	3,929	8,729	10,185	19,682	47,842
H27	1,390	3,645	3,714	8,458	9,919	20,353	47,479
H28	1,306	3,548	3,550	8,251	9,500	20,854	47,009
H29	1,259	3,315	3,290	7,894	9,271	21,160	46,189
H30	1,106	3,092	3,057	7,447	9,142	21,286	45,130
R1	1,068	2,937	2,962	6,997	9,054	21,430	44,448
R2	940	2,705	2,774	6,697	9,097	21,260	43,473
R3	838	2,485	2,695	6,346	9,144	21,001	42,509



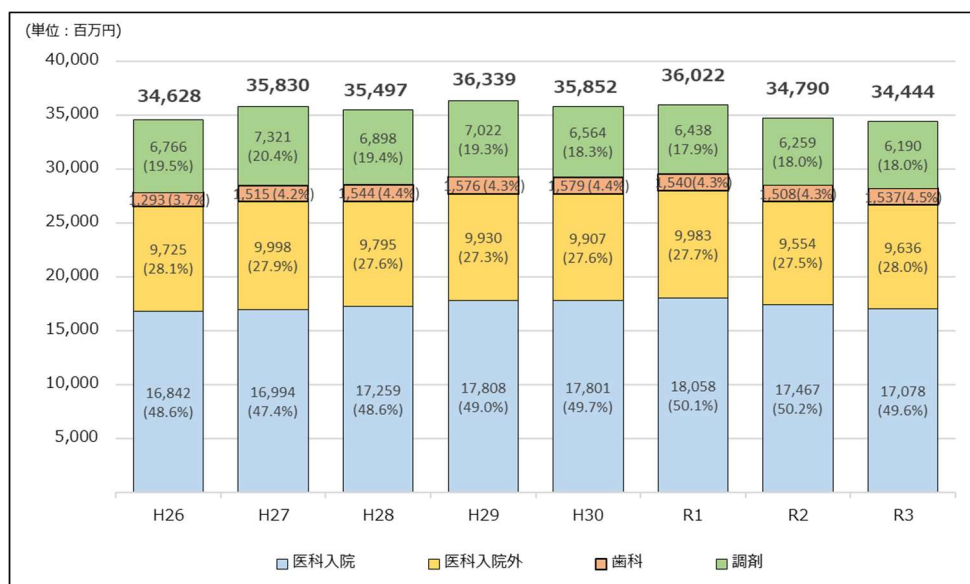
出典：神戸市における保護動向分析（令和3年）

3. 医療費・疾病の状況

(1) 生活保護の医療費等の推移

医療費は年間 350 億円前後で推移している。その内訳としては医科入院が最も高く、次いで医科入院外となっている。令和元年度以降、医療費は減少傾向であり、主に医科入院が減少している。

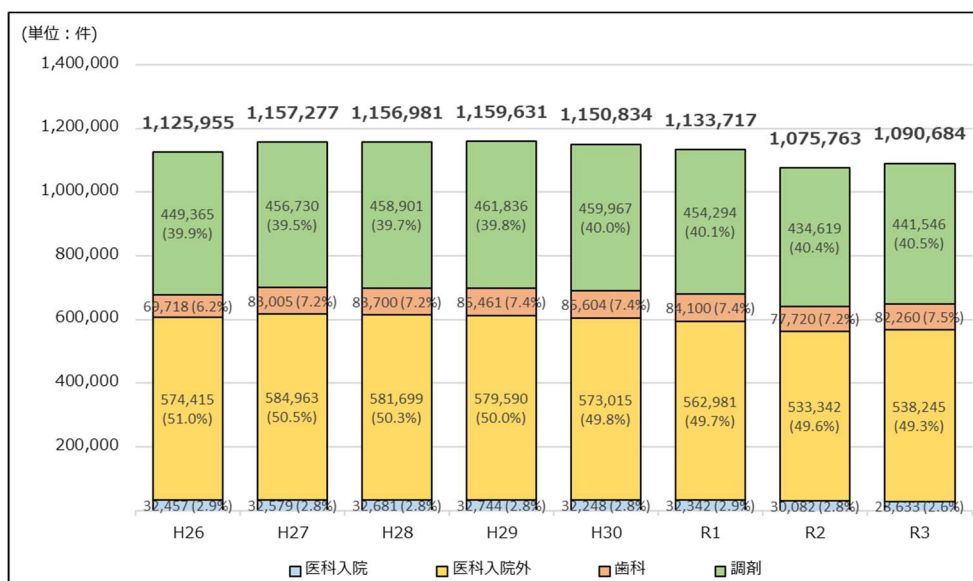
図表6 医療費の推移



集計対象：レセプトデータ（生活保護）

レセプト件数は年間 110 万件前後で推移していたが、令和元年度以降減少傾向にある。内訳としては医科入院外が最も多く、次いで調剤となっている。なお、全体に占める割合としては、医科入院外がわずかに減少している。

図表7 レセプト件数の推移

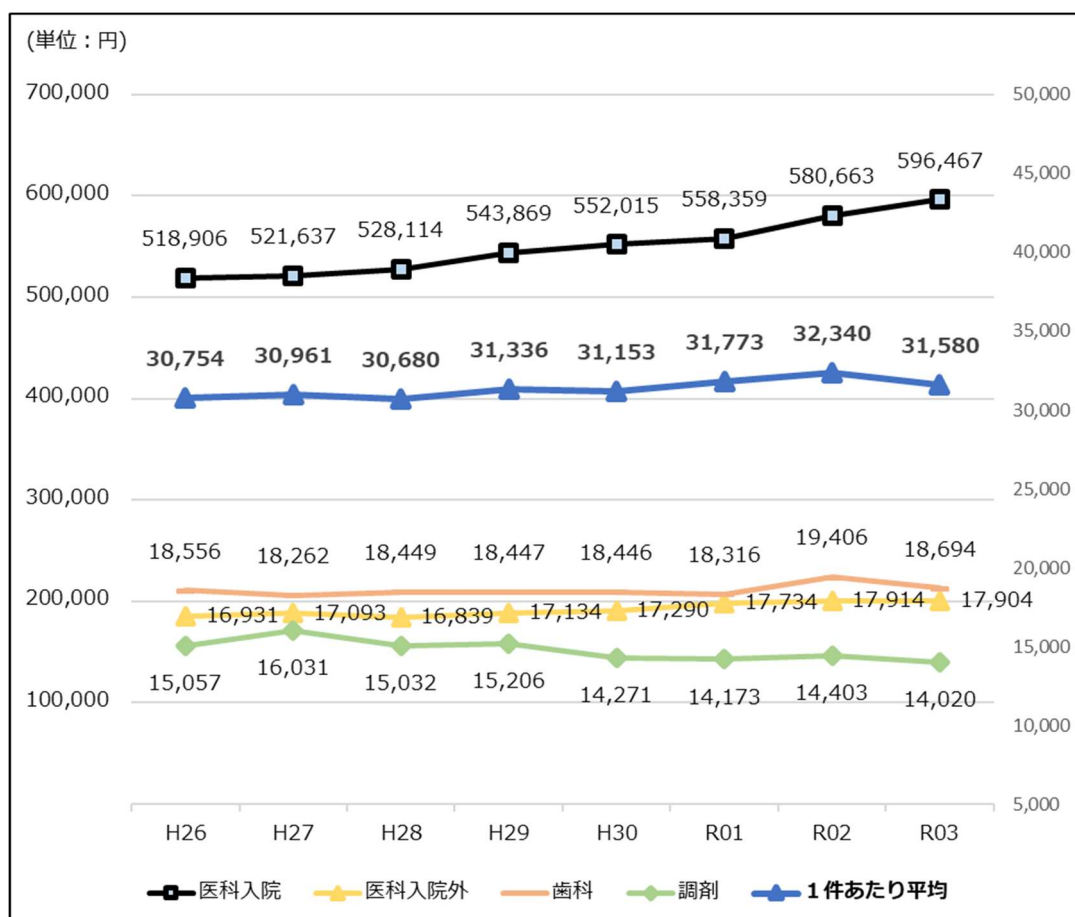


集計対象：レセプトデータ（生活保護）

(2) レセプト 1 件あたり医療費の推移

レセプト 1 件あたり医療費の平均でみると、31,000 円前後を推移しているが、調剤が減少傾向であり、医科入院が増加傾向である。

図表 8 レセプト 1 件あたり医療費の推移



集計対象：レセプトデータ（生活保護）

(3) 制度別の1人あたり医療費

生活保護（他公費等含む）、国民健康保険、後期高齢者医療の1人あたり医療費を比較すると、生活保護(75歳未満)は国民健康保険の約1.6倍であった。また、平成30年度と比較し、75歳未満の1人あたり医療費は、130,000円ほどの減少、75歳以上の1人あたり医療費は4,000円ほどの増加がみられた。

図表9 年代別の1人あたり医療費（制度別）

	年代	R3		H30		後期 (神戸：R1)
		医療扶助	国保 (神戸市)	医療扶助	国保 (神戸市)	
75歳未満	0歳～	243,511	211,381	245,398	207,858	－
	5歳～	111,202	103,966	118,921	101,424	－
	10歳～	98,587	100,845	104,481	96,397	－
	15歳～	119,416	98,637	96,341	67,427	－
	20歳～	225,136	93,668	165,440	65,694	－
	25歳～	264,228	116,575	363,767	97,901	－
	30歳～	257,909	163,806	464,029	151,906	－
	35歳～	376,773	217,028	549,353	162,864	－
	40歳～	440,011	238,154	633,866	195,927	－
	45歳～	528,301	284,101	743,839	237,737	－
	50歳～	623,828	319,476	902,710	296,208	－
	55歳～	777,647	404,563	1,040,444	358,351	－
	60歳～	870,791	461,177	1,024,772	388,169	－
	65歳～	866,057	472,054	1,095,380	426,108	－
	70歳～	976,893	593,906	1,083,174	508,604	－
	75歳未満平均	625,500	386,237	754,214	325,922	－
75歳以上	75歳～	1,237,551	－	1,233,767	－	1,047,450

集計対象：レセプトデータ（生活保護）

レセプトデータ（国保）

出典：兵庫県後期高齢者医療広域連合 データヘルス計画に基づく医療費等分析（後期）

(4) 疾病別の医療費（疾病大分類）

生活保護（他公費等含む）の疾病大分類別でみた医療費は、循環器系の疾患、精神及び行動の障害、新生物の順に高額であった。また順位に関しては平成 30 年度から大きな変化はなかった。

図表 10 疾病大分類別医療

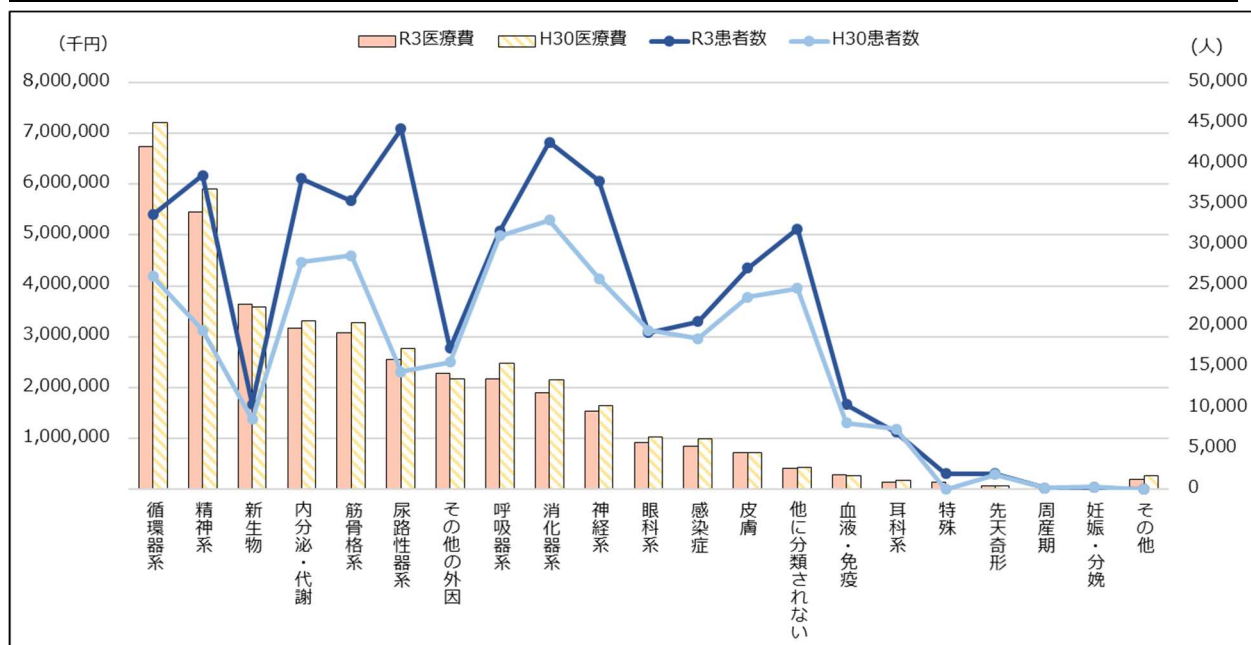
順位	R3		H30	
	大分類名	医療費(千円)	大分類名	医療費(千円)
1	循環器系の疾患	6,741,353	循環器系の疾患	7,214,580
2	精神及び行動の障害	5,453,429	精神及び行動の障害	5,903,535
3	新生物	3,642,428	新生物	3,584,483
4	内分泌、栄養及び代謝疾患	3,162,900	内分泌、栄養及び代謝疾患	3,318,784
5	筋骨格系及び結合組織の疾患	3,068,896	筋骨格系及び結合組織の疾患	3,280,451
6	腎尿路生殖器系の疾患	2,552,514	腎尿路生殖器系の疾患	2,769,536
7	損傷、中毒及びその他の外因の影響	2,280,827	呼吸器系の疾患	2,470,291
8	呼吸器系の疾患	2,165,178	損傷、中毒及びその他の外因の影響	2,173,740
9	消化器系の疾患	1,904,755	消化器系の疾患	2,153,214
10	神経系の疾患	1,534,273	神経系の疾患	1,652,277
11	眼及び付属器の疾患	923,560	眼及び付属器の疾患	1,031,787
12	感染症及び寄生虫症	854,256	感染症及び寄生虫症	996,545
13	皮膚及び皮下組織の疾患	710,998	皮膚及び皮下組織の疾患	716,894
14	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	416,928	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	423,993
15	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	292,832	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	265,924
16	耳及び乳様突起の疾患	148,168	耳及び乳様突起の疾患	175,411
17	特殊目的用コード	130,740	先天奇形、変形及び染色体異常	74,050
18	先天奇形、変形及び染色体異常	63,591	周産期に発生した病態	52,473
19	周産期に発生した病態	19,981	妊娠、分娩及び産じょく	21,405
20	妊娠、分娩及び産じょく	16,354	—	—
	その他・未分類	203,190	その他・未分類	259,296

※ 1 医療費は各レセプト毎に主たる疾病に計上しており重複計上は発生しない。

集計対象：レセプトデータ（生活保護・自立支援医療）

図表 11 疾病大分類別医療費等

順位	R3					H30			
	大分類名 略称	医療費(千円)	患者数	有病率	推移	大分類名 略称	医療費(千円)	患者数	有病率
1	循環器系	6,741,353	26,745	62.9%	→	循環器系	7,214,580	26,183	56.9%
2	精神系	5,453,429	22,320	52.5%	→	精神系	5,903,535	19,554	42.5%
3	新生物	3,642,428	8,596	20.2%	→	新生物	3,584,483	8,614	18.7%
4	内分泌・代謝	3,162,900	28,644	67.4%	→	内分泌・代謝	3,318,784	27,932	60.7%
5	筋骨格系	3,068,896	28,977	68.2%	→	筋骨格系	3,280,451	28,697	62.4%
6	尿路器系	2,552,514	14,937	35.1%	→	尿路器系	2,769,536	14,460	31.4%
7	その他の外因	2,280,827	14,895	35.0%	↑	呼吸器系	2,470,291	31,178	67.8%
8	呼吸器系	2,165,178	25,981	61.1%	↓	その他の外因	2,173,740	15,657	34.0%
9	消化器系	1,904,755	34,053	80.1%	→	消化器系	2,153,214	33,092	71.9%
10	神経系	1,534,273	28,684	67.5%	→	神経系	1,652,277	25,892	56.3%
11	眼科系	923,560	17,929	42.2%	→	眼科系	1,031,787	19,572	42.5%
12	感染症	854,256	17,007	40.0%	→	感染症	996,545	18,523	40.3%
13	皮膚	710,998	23,796	56.0%	→	皮膚	716,894	23,643	51.4%
14	他に分類されない	416,928	25,649	60.3%	→	他に分類されない	423,993	24,683	53.7%
15	血液・免疫	292,832	8,454	19.9%	→	血液・免疫	265,924	8,166	17.8%
16	耳科系	148,168	6,571	15.5%	→	耳科系	175,411	7,418	16.1%
17	特殊	130,740	1,654	3.9%	↑	先天奇形	74,050	1,805	3.9%
18	先天奇形	63,591	1,775	4.2%	↓	周産期	52,473	176	0.4%
19	周産期	19,981	139	0.3%	↓	妊娠・分娩	21,405	251	0.5%
20	妊娠・分娩	16,354	199	0.5%	↓	—	—	—	—
	その他	203,190	—	—	—	その他	259,296	—	—



- ※ 1 医療費は各レセプト毎に主たる疾病に計上しており重複計上は発生しない。
- ※ 2 患者数はレセプトに記載の病名をすべて集計対象としているため、各疾病の患者数の合計は、全体の患者数と一致しない。
- ※ 3 患者数は集計の都合上、実際の数値から若干の誤差が生じる。

集計対象：レセプトデータ（生活保護・自立支援医療）

（５）疾病別の医療費（疾病中分類）

疾病中分類全体では、「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」「高血圧性疾患」「糖尿病」の順に医療費が高額であった。

入院・入院外別でみると、入院では「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」「骨折」「その他の心疾患」の順で高額となる一方で、入院外では「高血圧性疾患」「糖尿病」「腎不全」が高額であった。

図表 12 疾病中分類別医療費等（入院+入院外）

順位	R3				H30		
	中分類名	医療費 (千円)	患者数 (人)	推移	中分類名	医療費 (千円)	患者数 (人)
1	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	2,653,344	8,058	→	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	2,816,722	6,311
2	高血圧性疾患	2,222,399	21,783	→	高血圧性疾患	2,387,584	21,080
3	糖尿病	2,013,666	14,173	→	糖尿病	2,299,310	13,696
4	腎不全	1,918,940	3,354	→	腎不全	2,148,439	2,860
5	骨折	1,583,485	5,136	↑	その他の心疾患	1,502,187	12,720
6	その他の心疾患	1,309,854	13,377	↓	骨折	1,396,681	4,416
7	その他の悪性新生物	1,179,482	2,328	↑	脳梗塞	1,197,624	5,477
8	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	1,053,472	11,454	↑	その他の悪性新生物	1,097,451	2,339
9	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	1,015,262	18,488	↑	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	1,088,618	9,425
10	脳梗塞	992,333	5,171	↓	脊椎障害（脊椎症を含む）	1,024,785	11,861
11	脊椎障害（脊椎症を含む）	897,966	11,341	↓	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	891,951	27,987
12	その他の消化器系の疾患	791,570	1,364	→	その他の消化器系の疾患	875,563	27,716
13	その他の呼吸器系の疾患	726,845	6,323	↑	虚血性心疾患	866,045	7,043
14	気管、気管支及び肺の悪性新生物	688,207	688	↑	その他の神経系の疾患	658,679	24,057
15	虚血性心疾患	658,690	6,688	↓	関節症	633,552	10,454
16	その他の神経系の疾患	632,172	26,672	↓	その他の呼吸器系の疾患	630,755	9,342
17	関節症	597,759	10,812	↓	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	595,370	1,892
18	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	596,928	13,310	↑	その他の損傷及びその他の外因の影響	568,936	13,056
19	アルツハイマー病	525,537	2,145	↑	ウイルス肝炎	560,466	2,696
20	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	497,531	10,349	↑	喘息	555,643	10,086

- ※ 1 医療費は各レセプト毎に主たる疾病に計上しており重複計上は発生しない。
- ※ 2 患者数はレセプトに記載の病名をすべて集計対象としているため、各疾病の患者数の合計は、全体の患者数と一致しない。
- ※ 3 患者数は集計の都合上、実際の数値から若干の誤差が生じる。

集計対象：レセプトデータ（生活保護・自立支援医療）

図表 13 疾病中分類別医療費等（入院）

順位	R3				H30		
	中分類名	医療費 (千円)	患者数 (人)	推移	中分類名	医療費 (千円)	患者数 (人)
1	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	1,970,462	1,637	→	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	2,172,568	1,619
2	骨折	1,419,252	1,287	→	骨折	1,236,501	1,232
3	その他の心疾患	880,232	2,839	→	その他の心疾患	1,059,547	2,961
4	脳梗塞	818,506	1,306	→	脳梗塞	903,648	1,478
5	その他の悪性新生物	620,453	785	→	その他の悪性新生物	632,102	891
6	その他の呼吸器系の疾患	609,326	1,779	↑	糖尿病	559,920	2,887
7	その他の消化器系の疾患	450,100	193	↑	虚血性心疾患	533,943	1,604
8	腎不全	432,553	1,115	↑	その他の呼吸器系の疾患	511,300	2,061
9	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	414,945	1,938	↑	その他の消化器系の疾患	507,787	6,075
10	糖尿病	384,013	2,643	↓	腎不全	450,181	1,103
11	虚血性心疾患	377,118	1,447	↓	脊椎障害（脊椎症を含む）	411,300	1,170
12	脊椎障害（脊椎症を含む）	374,859	1,024	↓	脳内出血	410,631	248
13	脳内出血	348,874	225	↓	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	285,980	412
14	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	340,268	2,154	↑	アルツハイマー病	385,528	579
15	くも膜下出血	327,575	48	↑	肺炎	374,454	1,244
16	アルツハイマー病	323,970	570	↓	血管性及び詳細不明の認知症	364,352	710
17	気管, 気管支及び肺の悪性新生物	315,850	290	↑	その他の損傷及びその他の外因の影響	338,393	1,919
18	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	292,860	317	↓	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	319,319	1,772
19	その他の損傷及びその他の外因の影響	280,115	1,677	↓	気管, 気管支及び肺の悪性新生物	301,910	281
20	その他の神経系の疾患	268,404	3,730	↑	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	299,333	1,357

図表 14 疾病中分類別医療費等（入院外）

順位	R3				H30		
	中分類名	医療費 (千円)	患者数 (人)	推移	中分類名	医療費 (千円)	患者数 (人)
1	高血圧性疾患	2,022,567	21,096	→	高血圧性疾患	2,136,124	20,435
2	糖尿病	1,629,654	13,727	→	糖尿病	1,739,390	13,264
3	腎不全	1,486,387	2,989	→	腎不全	1,698,258	2,518
4	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	808,580	10,796	→	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	789,285	8,941
5	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	682,882	7,145	↑	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	654,438	23,957
6	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	674,994	18,174	↓	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	644,153	5,530
7	その他の悪性新生物	559,029	2,147	↑	脊椎障害（脊椎症を含む）	613,485	11,576
8	脊椎障害（脊椎症を含む）	523,107	11,042	↓	喘息	484,723	9,900
9	神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害	431,063	10,073	↑	ウイルス肝炎	476,251	2,548
10	その他の心疾患	429,623	12,599	↑	その他の悪性新生物	465,350	2,158
11	喘息	415,845	8,006	↓	その他の心疾患	442,640	11,901
12	気管, 気管支及び肺の悪性新生物	372,358	613	↑	神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害	426,976	9,386
13	その他の神経系の疾患	363,768	25,533	→	その他の神経系の疾患	386,228	23,093
14	その他の消化器系の疾患	341,471	1,299	↑	屈折及び調節の障害	370,958	14,457
15	関節症	339,019	10,620	↑	その他の消化器系の疾患	367,776	26,461
16	屈折及び調節の障害	338,101	13,486	↓	関節症	363,779	10,291
17	ウイルス肝炎	311,473	2,207	↓	胃炎及び十二指腸炎	341,048	17,901
18	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	305,856	16,388	↑	虚血性心疾患	332,102	6,713
19	胃炎及び十二指腸炎	305,175	16,939	↓	炎症性多発性関節障害	299,619	4,808
20	その他の眼及び付属器の疾患	292,045	13,646	↑	脳梗塞	293,976	4,977

※ 1 医療費は各レセプト毎に主たる疾病に計上しており重複計上は発生しない。

※ 2 患者数はレセプトに記載の病名をすべて集計対象としているため、各疾病の患者数の合計は、
全体の患者数と一致しない。

※ 3 患者数は集計の都合上、実際の数値から若干の誤差が生じる。

集計対象：レセプトデータ（生活保護・自立支援医療）

(6) 疾病別の医療費（疾病中分類：主病名のみ集計）

疾病中分類で、主病名のみを集計し、国保医療費と比較したところ、ほとんどの疾患で、生活保護の方が1人あたりの医療費、有病率が高かった。

患者1人あたり医療費を上位の疾患でみると、「高血圧性疾患」「骨折」などで国保の医療費の2倍以上となっていた。

入院の1人あたり医療費が最も高かったのは、「脳内出血」、次いで「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」「くも膜下出血」「脳梗塞」「アルツハイマー病」の順であった。

入院外の1人あたり医療費では「腎不全」が最も高額となっていた。

図表 15 疾病中分類医療費（入院＋入院外）
（令和3年度）

順位	中分類名	推移	【生保】 R3 : 42,509 人				【国保】 R3 : 307,868 人			
			医療費(千円)	患者数(人)	患者1人あたり(円)	有病率	医療費(千円)	患者数(人)	患者1人あたり(円)	有病率
1	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	→	2,653,344	3,258	814,409	7.7%	4,905,767	5,187	945,781	1.7%
2	高血圧性疾患	↑	2,222,399	8,296	267,888	19.5%	6,478,022	51,309	126,255	16.7%
3	糖尿病	→	2,013,666	4,829	416,994	11.4%	5,111,895	20,373	250,915	6.6%
4	腎不全	↓	1,918,940	954	2,011,468	2.2%	4,708,617	1,963	2,398,684	0.6%
5	骨折	→	1,583,485	2,254	702,522	5.3%	2,541,992	7,927	320,675	2.6%
6	その他の心疾患	→	1,309,854	2,319	564,836	5.5%	3,424,019	9,234	370,806	3.0%
7	その他の悪性新生物	↑	1,179,482	1,515	778,536	3.6%	6,934,932	10,351	669,977	3.4%
8	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	↑	1,053,472	4,752	221,690	11.2%	1,955,900	9,321	209,838	3.0%
9	その他の内分泌，栄養及び代謝疾患	↑	1,015,262	3,900	260,324	9.2%	3,764,967	30,630	122,918	9.9%
10	脳梗塞	↓	992,333	1,585	626,078	3.7%	1,814,854	5,865	309,438	1.9%
11	脊椎障害（脊椎症を含む）	↓	897,966	4,016	223,597	9.4%	1,855,566	15,905	116,666	5.2%
12	その他の消化器系の疾患	↓	791,570	3,604	219,637	8.5%	3,407,813	23,659	144,039	7.7%
13	その他の呼吸器系の疾患	↑	726,845	1,084	670,521	2.6%	1,304,805	4,162	313,504	1.4%
14	気管，気管支及び肺の悪性新生物	↑	688,207	629	1,094,129	1.5%	2,806,191	2,820	995,103	0.9%
15	虚血性心疾患	↓	658,690	1,518	433,920	3.6%	1,964,391	6,182	317,760	2.0%
16	その他の神経系の疾患	↑	632,172	2,524	250,464	5.9%	2,858,216	12,253	233,267	4.0%
17	関節症	↑	597,759	2,892	206,694	6.8%	2,369,094	16,954	139,737	5.5%
18	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	↑	596,928	2,223	268,524	5.2%	1,875,958	15,292	122,676	5.0%
19	アルツハイマー病	→	525,537	842	624,153	2.0%	327,523	757	432,659	0.2%
20	神経症性障害，ストレス関連障害及び身体表現性障害	↑	497,531	3,404	146,161	8.0%	865,709	9,210	93,997	3.0%

（平成30年度）

順位	中分類名	【生保】 H30 : 45,130 人				【国保】 H30 : 323,472 人			
		医療費(千円)	患者数(人)	患者1人あたり(円)	有病率	医療費(千円)	患者数(人)	患者1人あたり(円)	有病率
1	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	2,524,593	2,807	899,392	6.2%	4,976,050	5,325	934,469	1.6%
2	腎不全	1,956,802	752	2,602,130	1.7%	3,916,947	1,771	2,211,715	0.5%
3	糖尿病	1,601,050	4,869	328,825	10.8%	3,401,597	21,211	160,369	6.6%
4	高血圧性疾患	1,479,892	8,200	180,475	18.2%	4,128,835	51,974	79,440	16.1%
5	骨折	1,351,624	2,185	618,592	4.8%	2,318,218	8,059	287,656	2.5%
6	その他の心疾患	1,306,387	2,352	555,436	5.2%	3,020,368	9,319	324,109	2.9%
7	脳梗塞	1,080,930	2,079	519,928	4.6%	1,658,285	6,522	254,260	2.0%
8	その他の悪性新生物	996,447	1,598	623,559	3.5%	5,713,360	10,554	541,345	3.3%
9	脊椎障害（脊椎症を含む）	795,257	4,324	183,917	9.6%	1,741,918	17,090	101,926	5.3%
10	その他の消化器系の疾患	723,757	3,840	188,478	8.5%	2,609,834	24,875	104,918	7.7%
11	虚血性心疾患	703,267	1,694	415,152	3.8%	2,075,073	6,820	304,263	2.1%
12	その他の内分泌，栄養及び代謝疾患	616,677	3,947	156,239	8.7%	2,324,344	31,329	74,191	9.7%
13	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	614,353	4,136	148,538	9.2%	1,247,277	8,478	147,119	2.6%
14	その他の呼吸器系の疾患	593,558	3,005	197,523	6.7%	1,294,369	19,800	65,372	6.1%
15	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	530,709	1,003	529,122	2.2%	446,992	1,154	387,341	0.4%
16	その他の損傷及びその他の外因の影響	526,960	4,785	110,128	10.6%	1,730,150	27,827	62,175	8.6%
17	気管，気管支及び肺の悪性新生物	509,050	640	795,391	1.4%	2,445,264	3,228	757,517	1.0%
18	関節症	506,678	2,923	173,342	6.5%	2,154,706	17,327	124,355	5.4%
19	アルツハイマー病	481,876	698	690,366	1.5%	299,046	789	379,019	0.2%
20	その他の神経系の疾患	480,191	2,579	186,193	5.7%	2,020,285	12,743	158,541	3.9%

図表 16 疾病中分類医療費等（入院）

（令和 3 年度）

順位	中分類名	推移	【生保】 R3 : 42,509 人				【国保】 R3 : 307,868 人			
			医療費(千円)	患者数(人)	患者 1 人あたり(円)	有病率	医療費(千円)	患者数(人)	患者 1 人あたり(円)	有病率
1	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	→	1,970,462	640	3,078,847	1.5%	3,802,622	1,087	3,498,272	0.4%
2	骨折	→	1,419,252	791	1,794,250	1.9%	2,061,150	1,544	1,334,942	0.5%
3	その他の心疾患	→	880,232	548	1,606,262	1.3%	2,160,241	1,130	1,911,717	0.4%
4	脳梗塞	→	818,506	316	2,590,210	0.7%	1,437,416	695	2,068,224	0.2%
5	その他の悪性新生物	→	620,453	450	1,378,785	1.1%	3,298,640	2,348	1,404,872	0.8%
6	その他の呼吸器系の疾患	↑	609,326	453	1,345,090	1.1%	881,127	731	1,205,372	0.2%
7	その他の消化器系の疾患	↑	450,100	644	698,912	1.5%	1,486,916	2,618	567,959	0.9%
8	腎不全	↑	432,553	298	1,451,519	0.7%	655,456	439	1,493,066	0.1%
9	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	↑	414,945	239	1,736,170	0.6%	800,153	541	1,479,026	0.2%
10	糖尿病	↓	384,013	338	1,136,132	0.8%	558,720	640	873,000	0.2%
11	虚血性心疾患	↓	377,118	347	1,086,796	0.8%	1,193,987	1,030	1,159,211	0.3%
12	脊椎障害（脊椎症を含む）	→	374,859	206	1,819,702	0.5%	819,651	489	1,676,177	0.2%
13	脳内出血	↓	348,874	96	3,634,105	0.2%	1,121,222	310	3,616,845	0.1%
14	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	↑	340,268	368	924,643	0.9%	374,187	463	808,179	0.2%
15	くも膜下出血	↑	327,575	124	2,641,736	0.3%	838,942	240	3,495,593	0.1%
16	アルツハイマー病	↓	323,970	140	2,314,073	0.3%	226,982	82	2,768,070	0.0%
17	気管, 気管支及び肺の悪性新生物	↑	315,850	192	1,645,050	0.5%	978,399	578	1,692,732	0.2%
18	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	↓	292,860	158	1,853,543	0.4%	250,264	150	1,668,426	0.0%
19	その他の損傷及びその他の外因の影響	↓	280,115	294	952,772	0.7%	795,680	843	943,868	0.3%
20	その他の神経系の疾患	↑	268,404	196	1,369,409	0.5%	1,323,878	719	1,841,277	0.2%

（平成 30 年度）

順位	中分類名	【生保】 H30 : 45,130 人				【国保】 H30 : 323,472 人			
		医療費(千円)	患者数(人)	患者 1 人あたり(円)	有病率	医療費(千円)	患者数(人)	患者 1 人あたり(円)	有病率
1	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	2,171,598	707	3,071,567	1.6%	4,362,646	1,250	3,490,117	0.4%
2	骨折	1,234,450	761	1,622,142	1.7%	1,937,657	1,604	1,208,016	0.5%
3	その他の心疾患	1,055,729	606	1,742,126	1.3%	2,395,458	1,252	1,913,305	0.4%
4	脳梗塞	903,168	389	2,321,770	0.9%	1,382,960	725	1,907,530	0.2%
5	その他の悪性新生物	629,770	480	1,312,020	1.1%	3,424,924	2,318	1,477,534	0.7%
6	糖尿病	555,964	511	1,087,992	1.1%	754,171	843	894,628	0.3%
7	虚血性心疾患	530,215	432	1,227,350	1.0%	1,618,779	1,403	1,153,798	0.4%
8	その他の呼吸器系の疾患	509,474	485	1,050,461	1.1%	793,515	885	896,627	0.3%
9	その他の消化器系の疾患	503,885	789	638,637	1.7%	1,493,141	3,050	489,554	0.9%
10	腎不全	445,455	293	1,520,324	0.6%	571,256	432	1,322,351	0.1%
11	脳内出血	410,552	132	3,110,241	0.3%	923,471	318	2,903,997	0.1%
12	脊椎障害（脊椎症を含む）	410,520	255	1,609,882	0.6%	996,115	593	1,679,790	0.2%
13	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	385,895	225	1,715,087	0.5%	329,610	228	1,445,656	0.1%
14	アルツハイマー病	385,396	135	2,854,785	0.3%	223,809	87	2,572,520	0.0%
15	肺炎	372,792	473	788,143	1.0%	497,732	766	649,781	0.2%
16	血管性及び詳細不明の認知症	364,266	142	2,565,257	0.3%	192,074	76	2,527,296	0.0%
17	その他の損傷及びその他の外因の影響	337,388	365	924,350	0.8%	949,960	1,024	927,696	0.3%
18	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	318,412	230	1,384,398	0.5%	759,747	569	1,335,232	0.2%
19	気管, 気管支及び肺の悪性新生物	300,267	203	1,479,150	0.4%	1,252,445	712	1,759,052	0.2%
20	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	298,866	190	1,572,980	0.4%	734,404	335	2,192,251	0.1%

- ※ 1 医療費は各レセプト毎に主たる疾病に計上しており重複計上は発生しない。
- ※ 2 患者数はレセプトに記載の病名をすべて集計対象としているため、各疾病の患者数の合計は、全体の患者数と一致しない。
- ※ 3 患者数は集計の都合上、実際の数値から若干の誤差が生じる。

集計対象：レセプトデータ（生活保護・自立支援医療）

レセプトデータ（国保）

図表 17 疾病中分類医療費等（入院外）
（令和 3 年度）

順位	中分類名	推移	【生保】 R3 : 42,509 人				【国保】 R3 : 307,868 人			
			医療費(千円)	患者数(人)	患者 1 人あたり(円)	有病率	医療費(千円)	患者数(人)	患者 1 人あたり(円)	有病率
1	高血圧性疾患	↑	2,022,567	8,248	245,219	19.4%	6,318,643	51,261	123,264	16.7%
2	糖尿病	↑	1,629,654	4,746	343,374	11.2%	4,553,175	20,244	224,915	6.6%
3	腎不全	↓	1,486,387	810	1,835,046	1.9%	4,053,161	1,800	2,251,756	0.6%
4	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	↑	808,580	4,666	173,292	11.0%	1,248,972	9,205	135,684	3.0%
5	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	↑	682,882	2,815	242,587	6.6%	1,103,145	4,495	245,416	1.5%
6	その他の内分泌，栄養及び代謝疾患	↓	674,994	3,652	184,829	8.6%	3,390,780	30,348	111,730	9.9%
7	その他の悪性新生物	↓	559,029	1,343	416,254	3.2%	3,636,292	9,784	371,657	3.2%
8	脊椎障害（脊椎症を含む）	↓	523,107	3,934	132,971	9.3%	1,035,916	15,776	65,664	5.1%
9	神経症性障害，ストレス関連障害及び身体表現性障害	↑	431,063	3,381	127,496	8.0%	729,421	9,171	79,536	3.0%
10	その他の心疾患	↑	429,623	2,019	212,790	4.7%	1,263,779	8,773	144,053	2.8%
11	喘息	↓	415,845	2,313	179,786	5.4%	993,157	11,805	84,130	3.8%
12	気管，気管支及び肺の悪性新生物	↑	372,358	581	640,891	1.4%	1,827,792	2,718	672,477	0.9%
13	その他の神経系の疾患	↑	363,768	2,410	150,941	5.7%	1,534,338	11,928	128,633	3.9%
14	その他の消化器系の疾患	→	341,471	3,238	105,457	7.6%	1,920,897	22,601	84,992	7.3%
15	関節症	↓	339,019	2,854	118,787	6.7%	1,070,245	16,878	63,411	5.5%
16	屈折及び調節の障害	↓	338,101	6,124	55,209	14.4%	1,617,672	44,135	36,653	14.3%
17	ウイルス肝炎	↓	311,473	909	342,654	2.1%	687,776	3,579	192,170	1.2%
18	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	↑	305,856	4,625	66,131	10.9%	1,121,303	32,779	34,208	10.6%
19	胃炎及び十二指腸炎	↓	305,175	2,212	137,964	5.2%	960,520	15,154	63,384	4.9%
20	その他の眼及び付属器の疾患	↓	292,045	4,159	70,220	9.8%	1,480,852	30,562	48,454	9.9%

（平成 30 年度）

順位	中分類名	【生保】 H30 : 45,130 人				【国保】 H30 : 323,472 人			
		医療費(千円)	患者数(人)	患者 1 人あたり(円)	有病率	医療費(千円)	患者数(人)	患者 1 人あたり(円)	有病率
1	腎不全	1,511,347	626	2,414,292	1.4%	3,345,691	1,618	2,067,794	0.5%
2	高血圧性疾患	1,229,685	8,149	150,900	18.1%	3,967,475	51,918	76,418	16.1%
3	糖尿病	1,045,085	4,729	220,995	10.5%	2,647,425	21,043	125,810	6.5%
4	脊椎障害（脊椎症を含む）	384,737	4,233	90,890	9.4%	745,803	16,938	44,031	5.2%
5	その他の内分泌，栄養及び代謝疾患	380,125	3,692	102,959	8.2%	1,973,565	31,023	63,616	9.6%
6	その他の悪性新生物	366,678	1,438	254,991	3.2%	2,288,436	9,957	229,832	3.1%
7	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	352,995	2,416	146,107	5.4%	613,404	4,526	135,529	1.4%
8	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	315,487	4,061	77,687	9.0%	512,873	8,374	61,246	2.6%
9	屈折及び調節の障害	278,466	6,918	40,252	15.3%	1,348,306	50,324	26,793	15.6%
10	喘息	268,625	3,047	88,160	6.8%	588,012	16,670	35,274	5.2%
11	その他の心疾患	250,658	2,034	123,234	4.5%	624,910	8,832	70,755	2.7%
12	ウイルス肝炎	241,868	1,052	229,913	2.3%	526,929	4,040	130,428	1.2%
13	関節症	237,255	2,890	82,095	6.4%	825,467	17,252	47,848	5.3%
14	その他の消化器系の疾患	219,872	3,396	64,744	7.5%	1,116,693	23,592	47,334	7.3%
15	神経症性障害，ストレス関連障害及び身体表現性障害	212,999	3,100	68,709	6.9%	362,189	9,046	40,039	2.8%
16	気管，気管支及び肺の悪性新生物	208,783	590	353,869	1.3%	1,192,819	3,109	383,666	1.0%
17	その他の神経系の疾患	208,472	2,464	84,607	5.5%	738,335	12,344	59,813	3.8%
18	胃炎及び十二指腸炎	208,306	2,489	83,691	5.5%	672,136	17,311	38,827	5.4%
19	その他の眼及び付属器の疾患	194,835	4,183	46,578	9.3%	1,054,709	30,521	34,557	9.4%
20	その他の損傷及びその他の外因の影響	189,572	4,558	41,591	10.1%	780,190	27,455	28,417	8.5%

※ 1 医療費は各レセプト毎に主たる疾病に計上しており重複計上は発生しない。

※ 2 患者数はレセプトに記載の病名をすべて集計対象としているため、各疾病の患者数の合計は、
全体の患者数と一致しない。

※ 3 患者数は集計の都合上、実際の数値から若干の誤差が生じる。

集計対象：レセプトデータ（生活保護・自立支援医療）

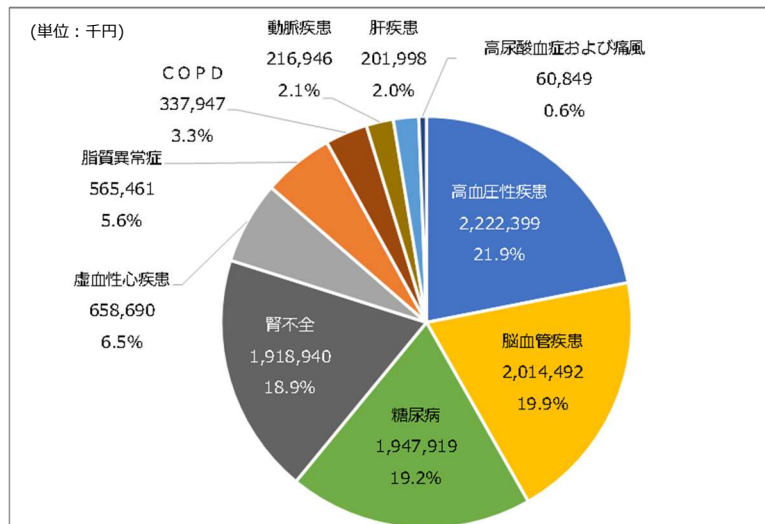
レセプトデータ（国保）

(7) 生活習慣病の医療費

生活習慣病の医療費は「高血圧性疾患」「脳血管疾患」「糖尿病」「腎不全」の順に多く、次いで「虚血性心疾患」となっている。上位4疾患で生活習慣病全体の約8割を占める。

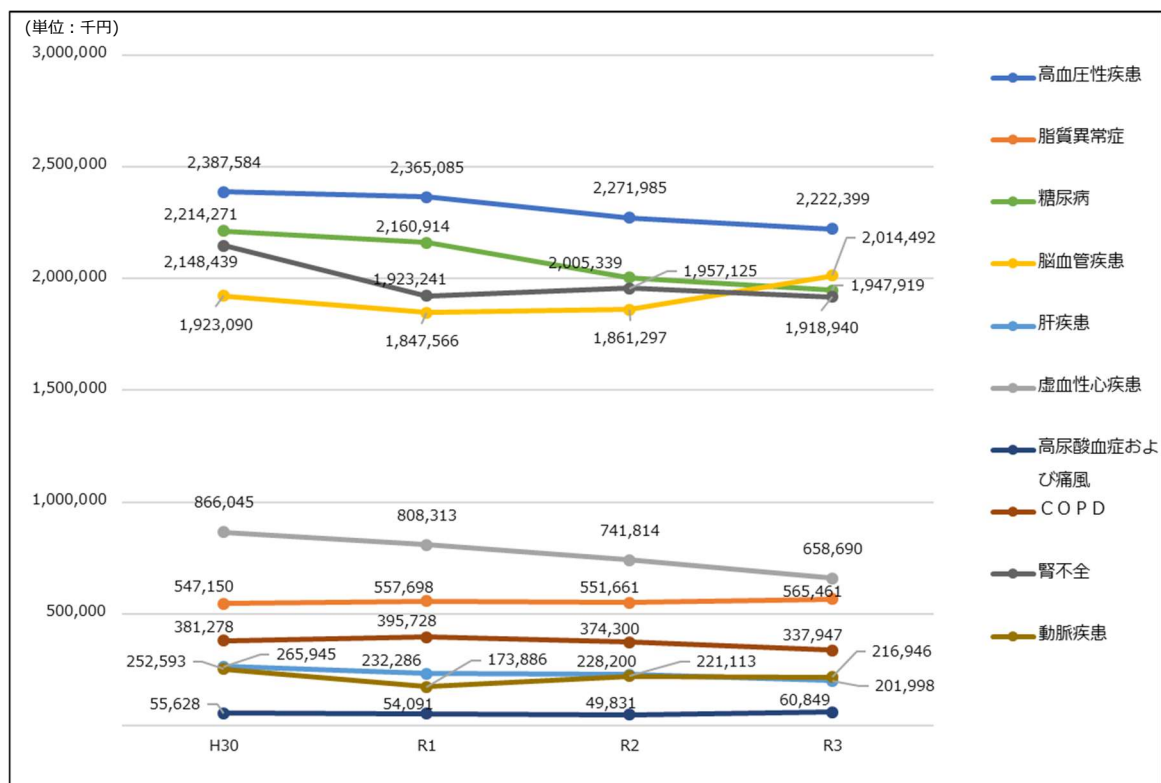
また上位4疾患について平成30年度からの推移をみると、高血圧性疾患、糖尿病、腎不全にかかる医療費は減少傾向である。「脳血管疾患」は平成30年度から減少傾向であったが、令和3年度において増加がみられた。

図表 18 生活習慣病の医療費内訳（令和3年度）



集計対象：レセプトデータ
(生活保護・自立支援医療)

図表 19 生活習慣病の医療費推移



集計対象：レセプトデータ（生活保護・自立支援医療）

（８）年代別にみた生活習慣病等の医療費

令和３年度の年代別疾病別１人あたり医療費を国保と比較すると、腎不全以外の全ての疾病で生活保護の方が高い傾向にあった。

令和３年度と平成３０年度の年代別疾病別１人あたり医療費を比較すると、「脳血管疾患」以外の疾病で減少がみられた。７５歳以上においては、「脂質異常症」「脳血管疾患」「動脈疾患」「COPD」で増加がみられた。

**図表 20 生活習慣病の１人あたり医療費
（生活保護 令和３年度）**

年代	高血圧性疾患	糖尿病	脂質異常症	脳血管疾患	虚血性心疾患	動脈疾患	肝疾患	腎不全	COPD
20歳～	62,572	119,492	36,448	0	12,875	0	52,470	30,470	0
25歳～	56,766	96,736	63,438	27,303	20,595	69,640	77,790	19,670	0
30歳～	85,615	164,936	122,111	69,757	67,694	59,277	23,771	1,795,204	18,245
35歳～	134,982	284,574	183,407	455,003	24,648	26,923	132,147	3,331,690	44,993
40歳～	121,442	281,142	187,973	445,143	157,819	32,285	173,270	1,876,613	66,030
45歳～	183,683	405,524	208,743	217,431	181,822	230,196	321,951	1,853,288	67,049
50歳～	208,389	384,164	160,323	573,357	365,362	216,934	298,331	1,971,401	186,220
55歳～	199,817	412,121	187,269	706,067	370,039	890,156	291,185	2,852,262	139,464
60歳～	234,399	424,789	247,707	696,533	467,029	670,767	262,671	2,038,355	304,349
65歳～	249,389	449,161	257,636	613,534	414,582	431,864	409,011	2,134,627	468,713
70歳～	260,091	395,949	215,790	544,979	445,617	499,327	307,181	2,073,972	687,182
75歳未満	233,958	394,990	209,086	571,908	386,657	502,550	276,131	2,126,395	475,086
75歳～	302,705	439,327	284,296	786,968	494,391	807,207	311,877	1,764,018	721,884

（国保 令和３年度）

年代	高血圧性疾患	糖尿病	脂質異常症	脳血管疾患	虚血性心疾患	動脈疾患	肝疾患	腎不全	COPD
20歳～	34,612	49,837	29,238	331,306	23,353	69,633	17,962	64,277	163,698
25歳～	38,362	67,043	39,153	99,169	17,377	18,975	31,550	523,949	31,665
30歳～	107,760	138,103	63,688	512,098	111,667	25,226	28,893	1,550,888	8,445
35歳～	90,803	135,918	50,345	315,555	75,013	82,163	76,969	2,571,970	20,086
40歳～	121,263	198,218	77,682	371,984	199,009	456,646	84,610	2,558,497	106,556
45歳～	95,243	197,175	82,748	598,315	256,966	343,491	145,452	2,882,685	59,375
50歳～	111,692	239,322	85,402	555,457	257,326	186,165	166,977	2,551,030	89,836
55歳～	115,678	283,897	90,182	443,200	382,749	202,700	149,506	2,886,122	144,242
60歳～	114,984	266,835	97,302	509,255	305,971	252,893	129,228	3,001,049	387,403
65歳～	124,122	255,045	103,840	406,465	354,839	523,000	115,830	2,290,430	203,356
70歳～	137,692	249,098	120,054	376,747	329,110	470,042	125,847	2,204,604	286,658
75歳未満	128,439	246,452	107,467	412,844	320,999	425,420	118,533	2,431,576	256,484

※１ 医療費は各レセプト毎に主たる疾病に計上しており重複計上は発生しない。

※２ １人あたり医療費は集計の都合上、実際の数値から若干の誤差が生じる。

集計対象：レセプトデータ（生活保護・自立支援医療）

レセプトデータ（国保）

(生活保護 平成 30 年度)

年代	高血圧性疾患	糖尿病	脂質異常症	脳血管疾患	虚血性心疾患	動脈疾患	肝疾患	腎不全	C O P D
20歳～	63,377	62,077	86,238	23,850	28,613	0	38,832	0	0
25歳～	66,110	148,637	72,423	30,500	111,008	2,142,340	99,288	0	0
30歳～	92,774	244,729	307,273	68,315	34,787	0	50,047	3,782,461	13,470
35歳～	132,191	243,589	117,944	257,320	160,729	3,251,421	268,690	2,023,963	69,803
40歳～	174,257	387,252	133,754	261,369	474,357	666,665	359,374	3,614,222	67,818
45歳～	188,064	371,274	170,203	571,180	380,224	248,682	380,273	3,445,802	118,112
50歳～	240,543	406,452	194,164	435,012	465,089	1,003,304	330,618	3,644,024	162,244
55歳～	226,169	473,553	257,898	422,566	431,007	535,951	333,392	3,502,370	237,226
60歳～	251,295	469,001	215,064	620,798	530,820	271,490	536,806	2,873,016	594,011
65歳～	277,044	489,101	258,204	656,485	529,606	754,741	363,231	3,110,640	604,479
70歳～	282,823	455,913	273,298	571,237	548,246	1,193,650	318,767	2,816,916	771,505
75歳未満	257,722	440,549	228,416	546,176	490,898	794,864	343,865	3,131,696	564,469
75歳～	329,688	512,758	268,542	676,305	540,773	776,188	384,438	2,334,027	703,742

(国保 平成 30 年度)

年代	高血圧性疾患	糖尿病	脂質異常症	脳血管疾患	虚血性心疾患	動脈疾患	肝疾患	腎不全	C O P D
20歳～	60,667	42,897	28,001	429,450	18,979	17,345	19,473	14,112	10,390
25歳～	62,570	131,756	30,427	435,489	26,671	14,978	21,998	1,811,949	16,120
30歳～	124,081	116,916	59,869	238,871	64,268	72,172	28,454	1,484,517	16,180
35歳～	75,264	136,276	66,338	305,105	60,032	29,455	47,577	3,276,727	15,263
40歳～	96,756	179,888	74,147	458,470	142,937	399,849	83,835	2,597,782	97,969
45歳～	110,261	215,281	81,187	675,239	247,402	645,593	125,494	2,948,441	43,858
50歳～	124,119	240,791	80,838	585,461	323,440	1,228,418	124,869	3,248,977	328,669
55歳～	112,448	279,900	90,076	481,677	436,974	400,362	147,920	3,251,031	96,088
60歳～	121,662	246,755	102,489	454,521	364,075	598,669	141,976	3,071,170	128,356
65歳～	134,616	249,124	111,538	340,841	365,340	530,033	140,831	2,536,499	193,828
70歳～	146,220	252,389	126,480	330,601	387,277	535,847	129,642	1,487,920	280,349
75歳未満	135,617	244,351	112,347	375,788	363,751	552,739	120,350	2,418,811	224,795

※ 1 医療費は各レセプト毎に主たる疾病に計上しており重複計上は発生しない。

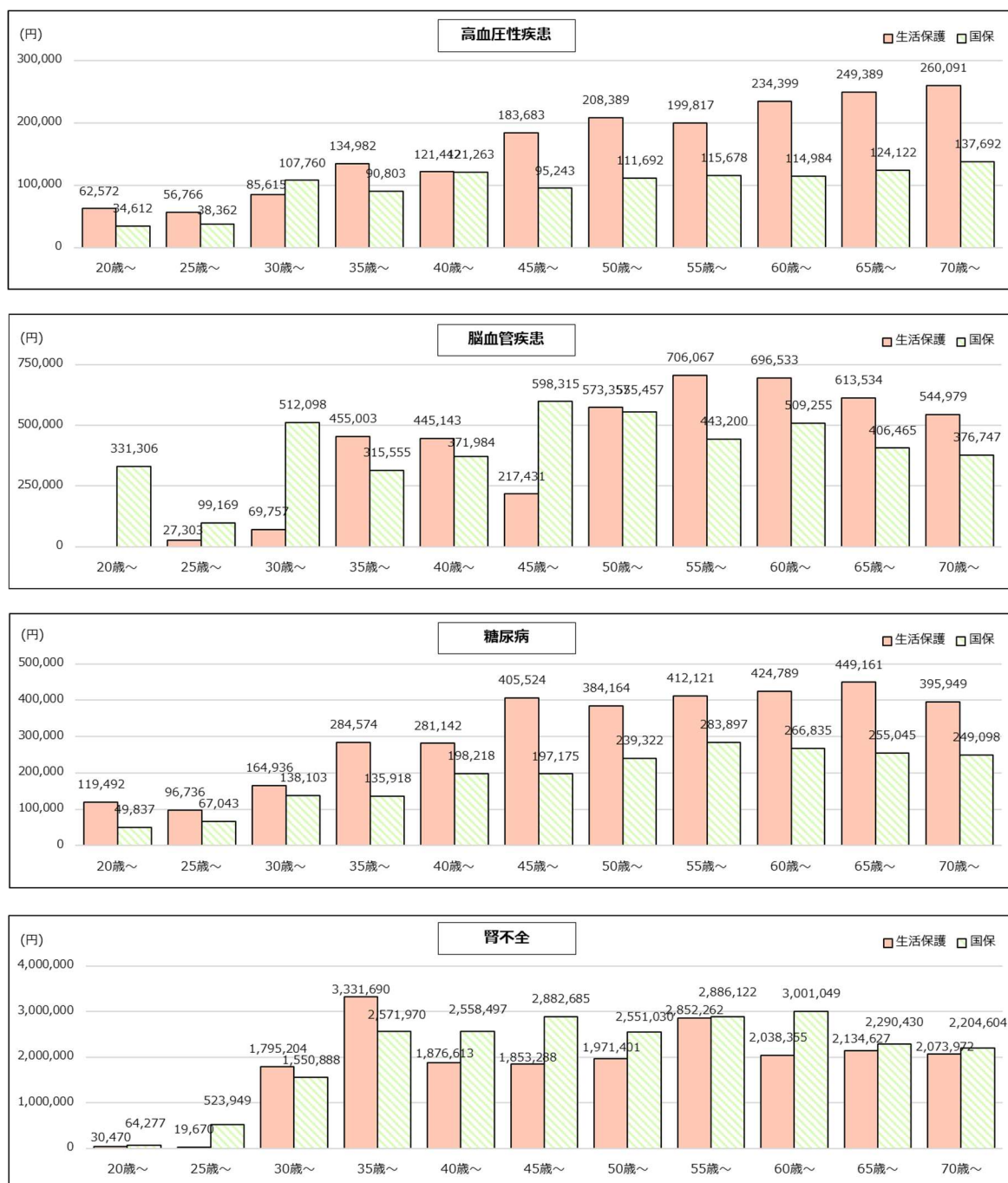
※ 2 1人あたり医療費は集計の都合上、実際の数値から若干の誤差が生じる。

集計対象：レセプトデータ（生活保護・自立支援医療）

レセプトデータ（国保）

また、令和３年度と平成３０年度の生活習慣病の主要な４疾病（高血圧性疾患、脳血管疾患、糖尿病、腎不全）の年代別１人あたり医療費を国保と比較した。「高血圧性疾患」、「糖尿病」では国保の同年代の医療費よりも高い傾向は変わらなかった。また、生活保護の壮年期の「脳血管疾患」や「糖尿病」が増加した。

図表 21 生活習慣病（主要な４疾病）の１人あたり医療費（令和３年度）



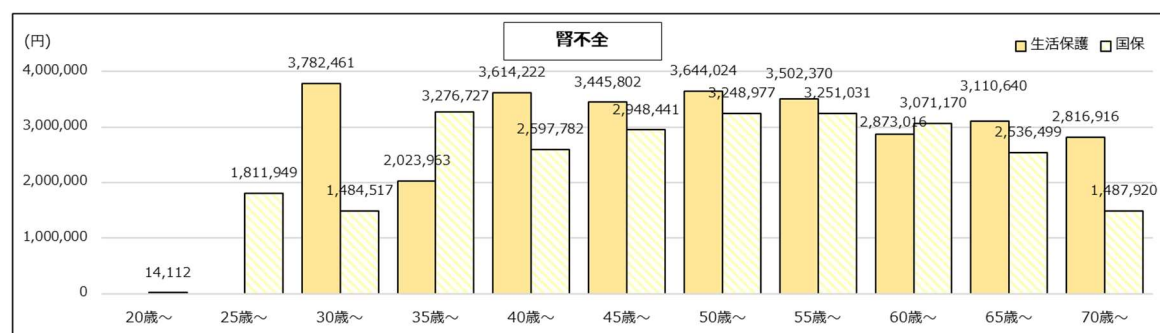
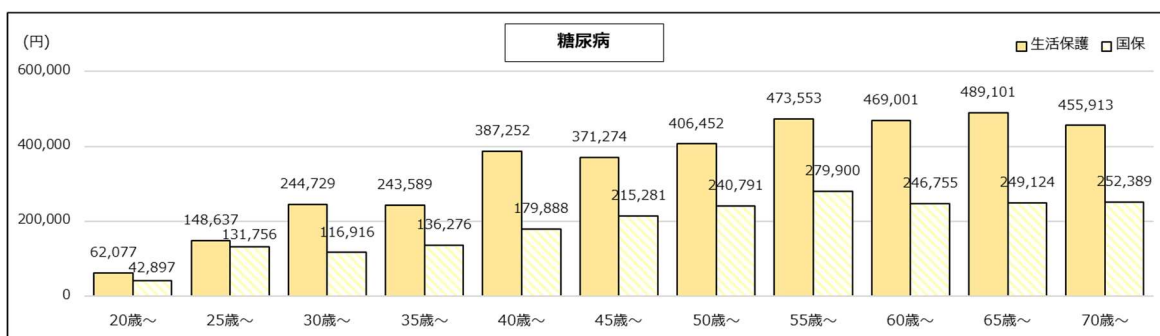
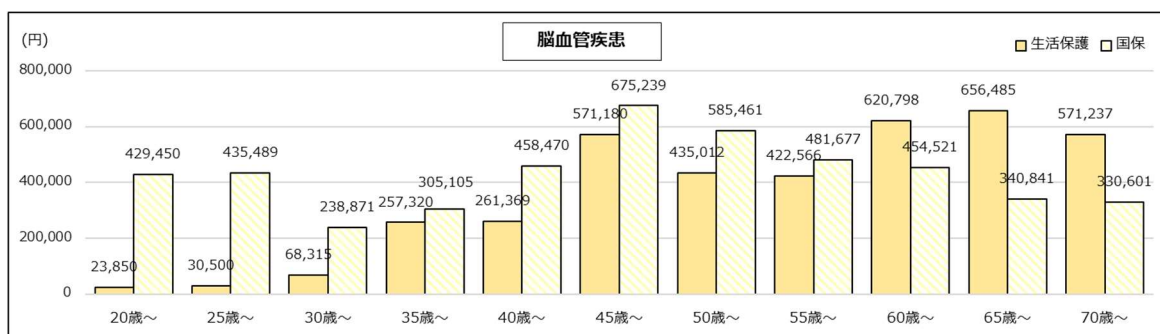
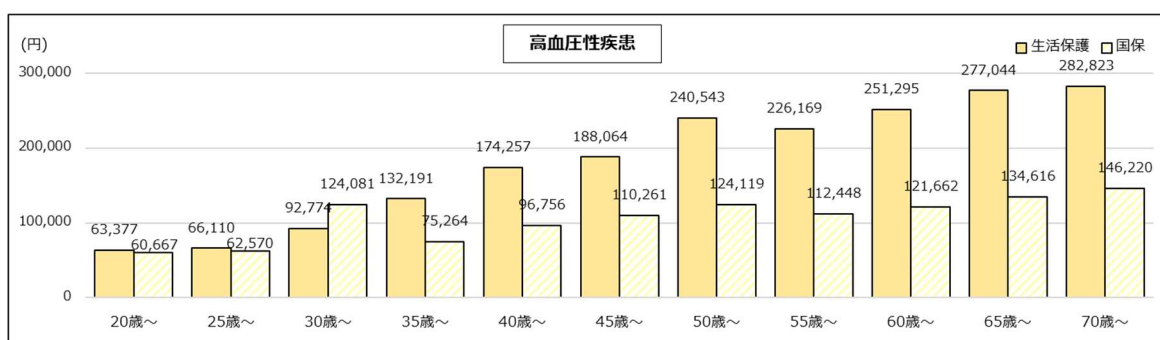
※ 1 医療費は各レセプト毎に主たる疾病に計上しており重複計上は発生しない。

※ 2 1人あたり医療費は集計の都合上、実際の数値から若干の誤差が生じる。

集計対象：レセプトデータ（生活保護・自立支援）

レセプトデータ（国保）

(平成 30 年度)



※ 1 医療費は各レセプト毎に主たる疾病に計上しており重複計上は発生しない。

※ 2 1人あたり医療費は集計の都合上、実際の数値から若干の誤差が生じる。

集計対象：レセプトデータ（生活保護・自立支援）

レセプトデータ（国保）

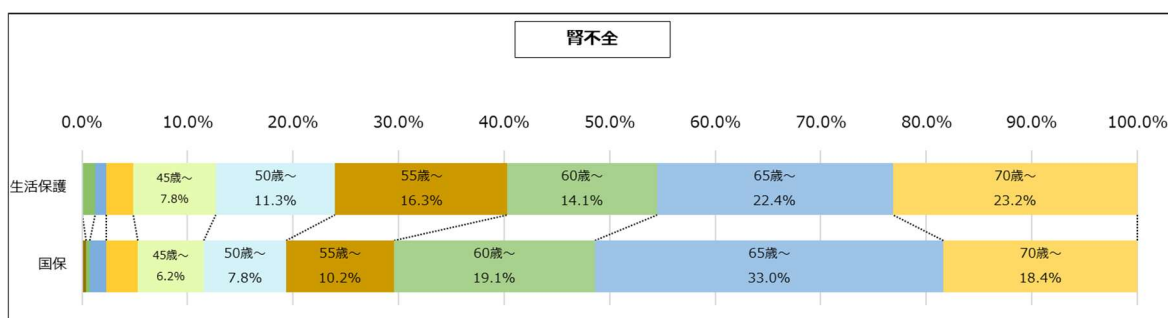
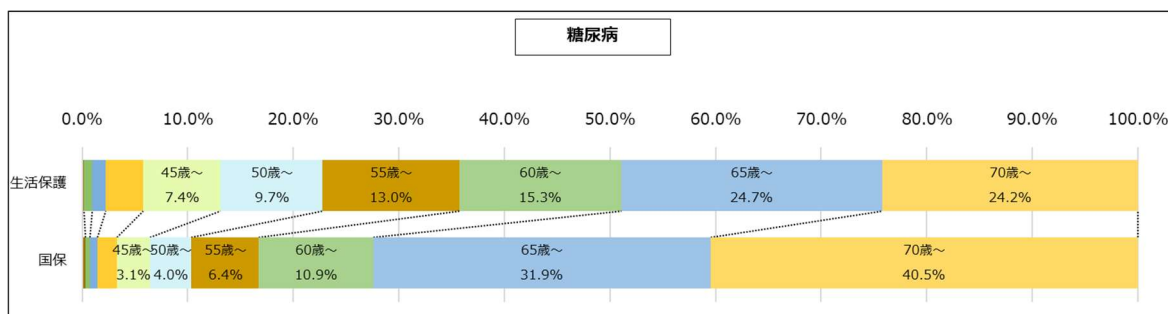
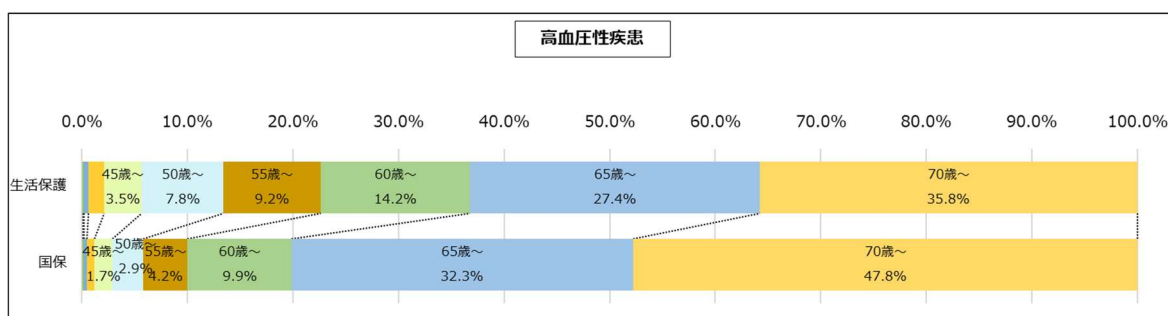
20～74 歳の当該疾病にかかる医療費総額を 100%として、各年代の医療費割合をグラフ化した。令和 3 年度の「糖尿病」の医療費総額における 20 歳～60 歳未満の割合が 38.7%を占め、国保の 17.1%と比較して高い。他の疾患についても同様に生活保護では若年期の医療費が占める割合が高い傾向がみられる。

また、平成 30 年度と比較し「糖尿病」では 20 歳～60 歳未満の医療費が占める割合が増加した。

図表 22 生活習慣病（主要な疾病）の医療費年代別割合（令和 3 年度）



(平成 30 年度)



※ 1 医療費は各レセプト毎に主たる疾病に計上しており重複計上は発生しない。

集計対象：レセプトデータ（生活保護・自立支援）

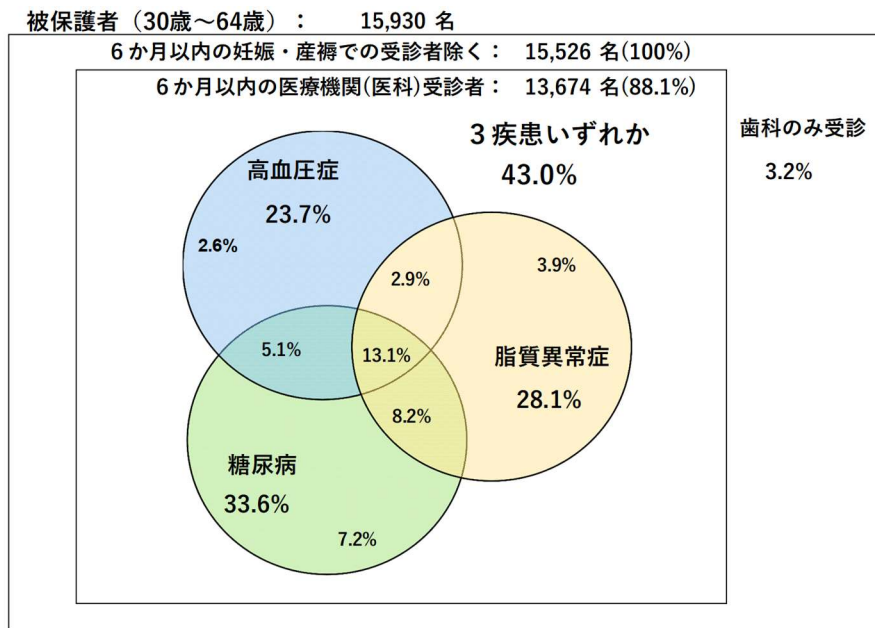
レセプトデータ（国保）

(9) 被保護者の医療機関受診状況

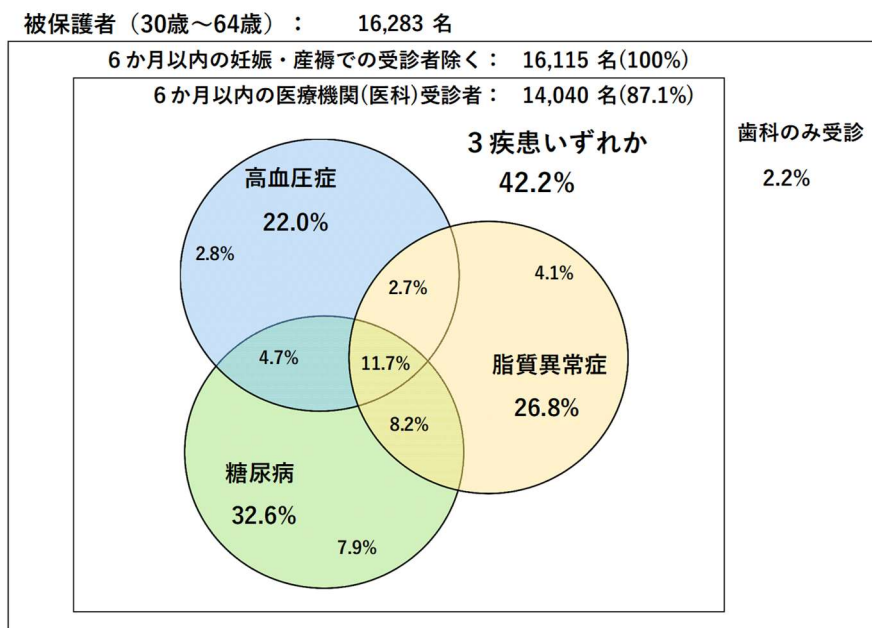
30 歳～64 歳の被保護者について、医療機関の受診状況を確認したところ、9 割近くが医療機関（医科）を受診していた。そのうち、生活習慣病の 3 疾病（高血圧症・糖尿病・脂質異常症）の受診割合は 43.0%であった。

令和 3 年度と平成 30 年度を比較すると、3 疾病すべての受診割合が増加した。また、重症化リスクの高い、3 疾患を有する者の割合も増加した。

**図表 23 被保護者の医療機関受診状況
(令和 3 年度)**



(平成 30 年度)



※ 1 糖尿病には I 型糖尿病を含む。各疾病は同レセプトにて血液検査が行われている場合のみ集計対象にしている。

※ 2 直近 6 か月の医科レセプトのみ集計対象としている。

※ 3 患者数は集計の都合上、実際の数値から若干の誤差が生じる。

集計対象：レセプトデータ（生活保護・自立支援医療）

(10) 糖尿病の重症度別の医療費及び患者数の状況

糖尿病治療中の被保護者について、糖尿病合併症がある者とそれ以外の者とで1人あたり医療費を比較したところ、明らかに合併症がある者の医療費が高額な傾向があった。

令和3年度と平成30年度の糖尿病患者数を比較すると、50歳以上ではほとんどの年代で患者数が増加している。1人あたり医療費全体では、合併症ありは減少、それ以外は増加がみられた。

図表 24 糖尿病における医療費及び患者数
(医療費)

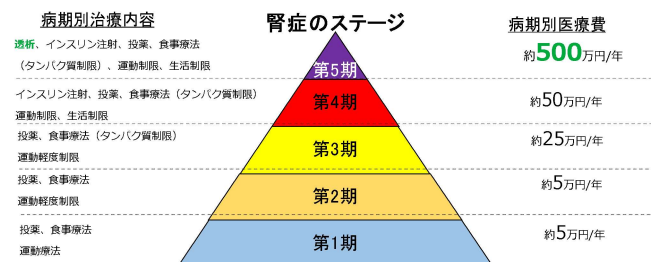
年代	糖尿病患者1人あたり(円)※I型除く						糖尿病医療費(千円)※I型除く					
	R3			H30			R3			H30		
	合計	合併症あり	それ以外	合計	合併症あり	それ以外	合計	合併症あり	それ以外	合計	合併症あり	それ以外
0歳～												
5歳～	60,350		60,350				60		60			
10歳～	11,710		11,710	647,428		647,428	35		35	2,590		2,590
15歳～	120,465	91,505	126,257	438,305	821,483	55,127	1,446	183	1,263	2,630	2,464	165
20歳～	119,492	7,520	131,933	90,400	43,170	114,015	1,195	8	1,187	542	86	456
25歳～	96,736	12,160	100,260	193,257	431,150	113,959	2,418	12	2,406	2,319	1,293	1,026
30歳～	164,936	332,182	137,061	292,152	343,326	256,553	6,927	1,993	4,934	11,394	5,493	5,901
35歳～	284,574	504,918	238,022	271,298	380,399	185,786	24,473	7,574	16,900	17,906	11,032	6,874
40歳～	281,142	506,198	229,046	442,615	621,390	219,147	37,392	12,655	24,737	51,786	40,390	11,396
45歳～	405,524	675,913	303,015	400,732	552,706	241,902	101,787	46,638	55,149	108,999	76,826	32,173
50歳～	384,164	647,670	304,752	440,740	598,234	246,316	145,982	56,995	88,988	142,800	107,084	35,716
55歳～	412,121	544,299	361,786	502,140	668,548	263,060	183,806	66,949	116,857	193,324	151,760	41,563
60歳～	424,789	697,120	336,180	479,681	597,150	323,441	188,606	75,986	112,620	226,889	161,231	65,659
65歳～	449,161	540,348	414,202	504,859	569,670	411,435	269,047	89,698	179,350	368,547	245,528	123,019
70歳～	395,949	485,239	362,555	469,157	569,490	335,989	338,933	113,061	225,872	360,313	249,436	110,876
75歳～	439,327	553,208	405,974	529,713	615,791	430,806	645,810	184,218	461,592	710,345	441,522	268,823
全体	409,399	560,178	360,176	484,346	593,151	348,931	1,947,919	655,969	1,291,950	2,200,383	1,494,146	706,237

(患者数)

年代	糖尿病患者数(人)※I型除く						(参考) I型糖尿病での患者数(人)					
	R3			H30			R3			H30		
	合計	合併症あり	それ以外	合計	合併症あり	それ以外	合計	合併症あり	それ以外	合計	合併症あり	それ以外
0歳～	1		1							1	1	0
5歳～	2		2							1		1
10歳～	8		8	10		10	2		2	1		1
15歳～	23	3	20	21	3	18	2		2	2	2	
20歳～	31	4	27	31	7	24	3	1	2	2	2	
25歳～	59	6	53	48	6	42	3	3		1		1
30歳～	107	15	92	121	18	103	1		1	4	2	2
35歳～	199	48	151	185	39	146	7	3	4	7	4	3
40歳～	317	73	244	354	91	263	13	6	7	8	6	2
45歳～	678	183	495	694	180	514	14	3	11	22	7	15
50歳～	934	253	681	865	260	605	22	10	12	22	9	13
55歳～	1,171	387	784	1,041	321	720	19	14	5	20	11	9
60歳～	1,260	367	893	1,170	404	766	12	4	8	20	7	13
65歳～	1,586	521	1,065	2,051	667	1,384	30	12	18	21	9	12
70歳～	2,575	777	1,798	2,312	716	1,596	25	11	14	26	10	16
75歳～	5,197	1,303	3,894	4,761	1,220	3,541	28	10	18	24	10	14
全体	14,148	3,940	10,208	13,664	3,932	9,732	181	77	104	182	80	102

集計対象：レセプトデータ（生活保護・自立支援医療）

- ※ 1 医療費は各レセプト毎に主たる疾病に計上しており重複計上は発生しない。
- ※ 2 患者数はレセプトに記載の病名をすべて集計対象としている。
- ※ 3 患者数は集計の都合上、実際の数値から若干の誤差が生じる。

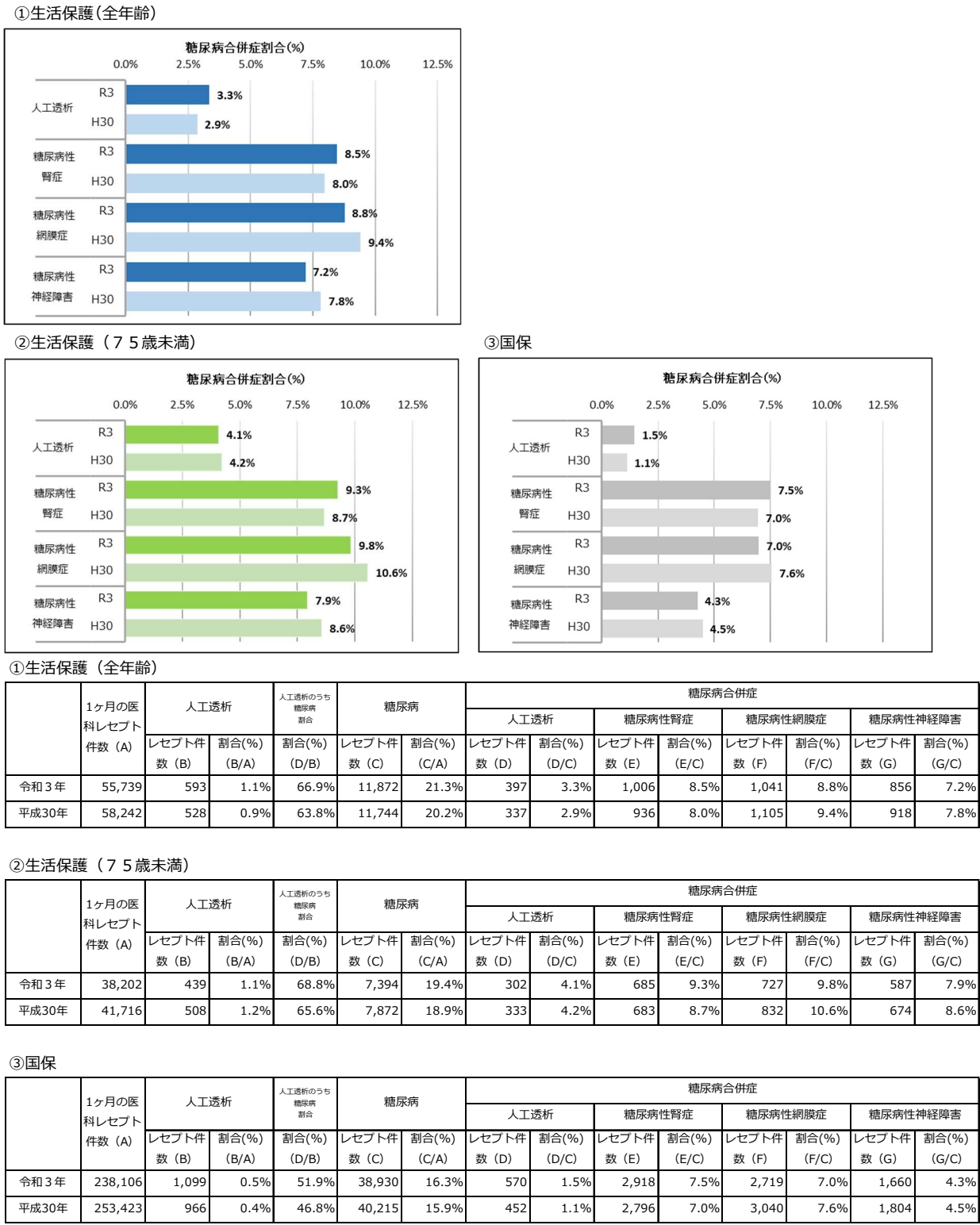


(11) 人工透析・糖尿病合併症の状況

人工透析及び糖尿病合併症のそれぞれのレセプトの割合を国保と比較したところ、合併症ありの割合は生活保護の方が高かった。

令和3年度と平成30年度を比較すると人工透析、糖尿病性腎症では増加、糖尿病性網膜症、糖尿病性神経障害では減少がみられた。

図表 25 人工透析・糖尿病合併症のレセプト割合



集計対象：レセプトデータ（生活保護・自立支援）

(12) 歯科レセプトと糖尿病の関連状況

歯科レセプトにおける糖尿病患者の割合を年代別に確認すると、50歳代で約30%、65歳以降では40%以上を占める。令和3年度と平成30年度を比較すると、歯科受診者及びう蝕、歯周病における糖尿病患者の割合が増加した。

図表 26 歯科レセプトに占める糖尿病患者の割合

年代	歯科受診者(人)					
	R3			H30		
	歯科	内、糖尿病	糖尿病患者の割合	歯科	内、糖尿病	糖尿病患者の割合
0歳～	216	1	0.5%	301		0.0%
5歳～	738	2	0.3%	896		0.0%
10歳～	694	1	0.1%	774	3	0.4%
15歳～	535	12	2.2%	635	10	1.6%
20歳～	256	14	5.5%	258	19	7.4%
25歳～	353	25	7.1%	395	26	6.6%
30歳～	474	55	11.6%	540	59	10.9%
35歳～	624	90	14.4%	718	104	14.5%
40歳～	810	161	19.9%	1,044	202	19.3%
45歳～	1,268	319	25.2%	1,422	356	25.0%
50歳～	1,443	413	28.6%	1,467	450	30.7%
55歳～	1,442	511	35.4%	1,429	506	35.4%
60歳～	1,447	540	37.3%	1,483	534	36.0%
65歳～	1,594	651	40.8%	2,202	889	40.4%
70歳～	2,481	1,061	42.8%	2,390	1,006	42.1%
75歳～	5,205	2,184	42.0%	4,966	2,034	41.0%
全体	19,580	6,040	30.8%	20,920	6,198	29.6%

年代	う蝕						歯周病					
	R3			H30			R3			H30		
	歯科	内、糖尿病	糖尿病患者の割合	歯科	内、糖尿病	糖尿病患者の割合	歯科	内、糖尿病	糖尿病患者の割合	歯科	内、糖尿病	糖尿病患者の割合
0歳～	166		0.0%	238		0.0%	132	1	0.8%	175		0.0%
5歳～	640	2	0.3%	795		0.0%	588	2	0.3%	629		0.0%
10歳～	517	1	0.2%	588	3	0.5%	603	1	0.2%	620	3	0.5%
15歳～	384	8	2.1%	451	9	2.0%	496	12	2.4%	588	10	1.7%
20歳～	162	7	4.3%	160	12	7.5%	247	14	5.7%	246	19	7.7%
25歳～	228	14	6.1%	264	16	6.1%	341	23	6.7%	382	23	6.0%
30歳～	302	33	10.9%	346	38	11.0%	455	54	11.9%	518	57	11.0%
35歳～	415	60	14.5%	503	65	12.9%	595	88	14.8%	689	99	14.4%
40歳～	524	113	21.6%	728	146	20.1%	784	157	20.0%	998	194	19.4%
45歳～	837	229	27.4%	911	230	25.2%	1,226	310	25.3%	1,351	339	25.1%
50歳～	923	265	28.7%	939	295	31.4%	1,383	399	28.9%	1,393	419	30.1%
55歳～	895	320	35.8%	875	315	36.0%	1,367	485	35.5%	1,335	484	36.3%
60歳～	823	299	36.3%	850	319	37.5%	1,337	492	36.8%	1,337	481	36.0%
65歳～	852	350	41.1%	1,205	492	40.8%	1,441	589	40.9%	1,951	791	40.5%
70歳～	1,269	550	43.3%	1,213	512	42.2%	2,194	932	42.5%	2,088	858	41.1%
75歳～	2,299	1,020	44.4%	2,259	941	41.7%	4,313	1,810	42.0%	4,012	1,649	41.1%
全体	11,236	3,271	29.1%	12,325	3,393	27.5%	17,502	5,369	30.7%	18,312	5,426	29.6%

※ 1 患者数はレセプトに記載の病名をすべて集計対象としているため、各疾病の患者数の合計は、全体の患者数と一致しない。

※ 2 患者数は集計の都合上、実際の数値から若干の誤差が生じる。

集計対象：レセプトデータ（生活保護・自立支援医療）

(13) 悪性新生物による医療機関受診率

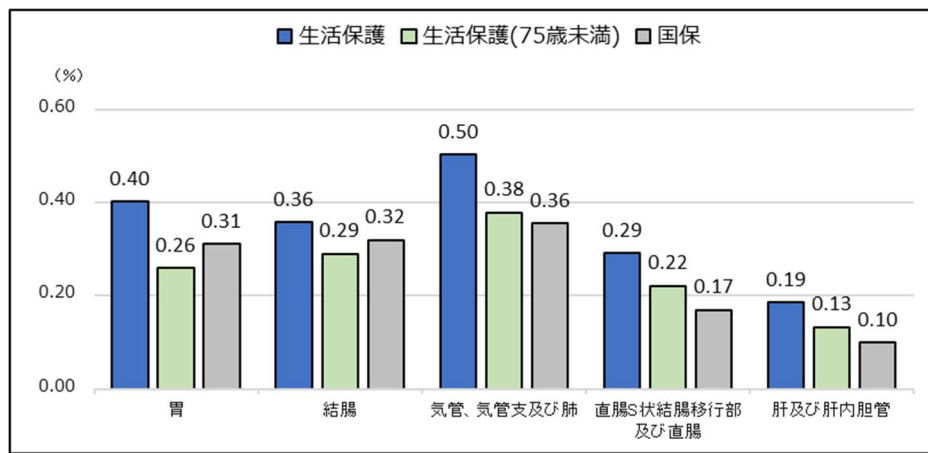
令和3年度と平成30年度全体を比較すると、男性では、「肝及び肝内胆管」以外のすべての悪性新生物の医療機関受診率が低下した。女性では、「直腸S状結腸移行部及び直腸」「乳房」以外の悪性新生物の医療機関受診率が低下した。

令和3年度の生活保護(75歳未満)と国保との比較では、男性の「胃」「直腸S状結腸移行部及び直腸」、女性の「結腸」「乳房」「子宮」で大きな差がみられた。

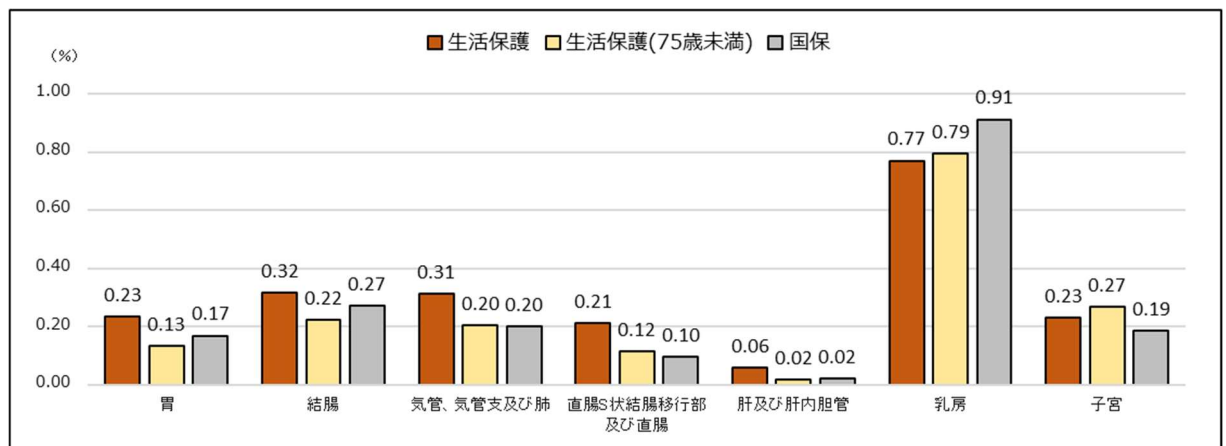
また、男性の医療機関受診率が女性と比較し、総じて高い傾向がみられた。

図表 27 悪性新生物による医療機関受診率

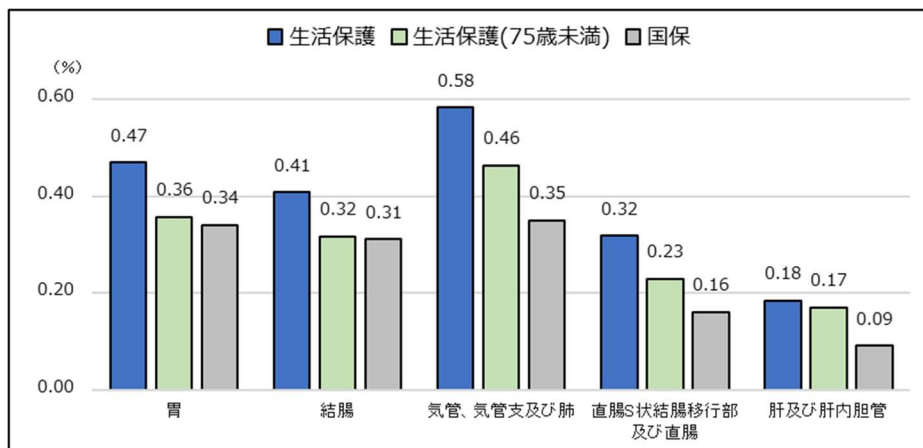
(令和3年度 男性)



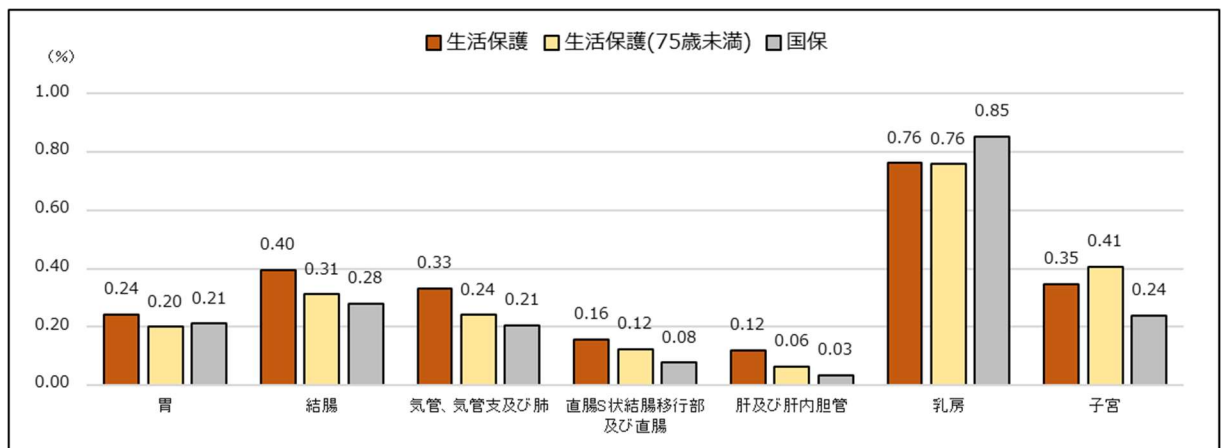
(令和3年度 女性)



(平成30年度 男性)



(平成30年度 女性)



※ 1 患者数は集計の都合上、実際の数値から若干の誤差が生じる。

集計対象：レセプトデータ（生活保護・自立支援医療）

レセプトデータ（国保）

(14) 糖尿病と悪性新生物の関係

糖尿病に罹患していない者と罹患している者の悪性新生物の受診割合を比較すると、40～59歳では結腸、胃、肝及び肝内胆管、膵すべての悪性新生物において、罹患している者の受診率が2倍以上高かった。

また令和3年度と平成30年度を比較すると、全体的には減少傾向の中、75歳以上の糖尿病に罹患している者では悪性新生物の受診割合が概ね増加した。

図表 28 糖尿病と悪性新生物の関係

40～59歳

	R3						H30					
	人数			割合			人数			割合		
	糖尿病あり	糖尿病なし	計	糖尿病あり	糖尿病なし	計	糖尿病あり	糖尿病なし	計	糖尿病あり	糖尿病なし	計
結腸	18	20	38	0.58%	0.20%	0.29%	23	38	61	0.78%	0.49%	0.57%
胃	18	22	40	0.58%	0.22%	0.30%	23	23	46	0.78%	0.29%	0.43%
肝および肝内胆管	19	18	37	0.61%	0.18%	0.28%	16	11	27	0.54%	0.14%	0.25%
膵	7	8	15	0.22%	0.08%	0.11%	8	6	14	0.27%	0.08%	0.13%
実診療人数	3,114	10,164	13,278				2,962	7,805	10,767			

60～74歳

	R3						H30					
	人数			割合			人数			割合		
	糖尿病あり	糖尿病なし	計	糖尿病あり	糖尿病なし	計	糖尿病あり	糖尿病なし	計	糖尿病あり	糖尿病なし	計
結腸	148	146	294	2.73%	1.64%	2.05%	158	187	345	2.85%	2.42%	2.60%
胃	132	141	273	2.43%	1.58%	1.90%	169	177	346	3.05%	2.29%	2.61%
肝および肝内胆管	72	63	135	1.33%	0.71%	0.94%	89	77	166	1.61%	1.00%	1.25%
膵	34	22	56	0.63%	0.25%	0.39%	45	19	64	0.81%	0.25%	0.48%
実診療人数	5,431	8,922	14,353				5,545	7,730	13,275			

75歳以上

	R3						H30					
	人数			割合			人数			割合		
	糖尿病あり	糖尿病なし	計	糖尿病あり	糖尿病なし	計	糖尿病あり	糖尿病なし	計	糖尿病あり	糖尿病なし	計
結腸	267	250	517	5.13%	3.26%	4.02%	223	223	446	4.68%	3.29%	3.86%
胃	216	191	407	4.15%	2.49%	3.16%	199	177	376	4.18%	2.61%	3.26%
肝および肝内胆管	112	92	204	2.15%	1.20%	1.59%	98	85	183	2.06%	1.25%	1.59%
膵	55	26	81	1.06%	0.34%	0.63%	37	26	63	0.78%	0.38%	0.55%
実診療人数	5,204	7,659	12,863				4,766	6,774	11,540			

※ 1 糖尿病患者数には、I型糖尿病を含む。

※ 2 患者数は集計の都合上、実際の数値から若干の誤差が生じる。

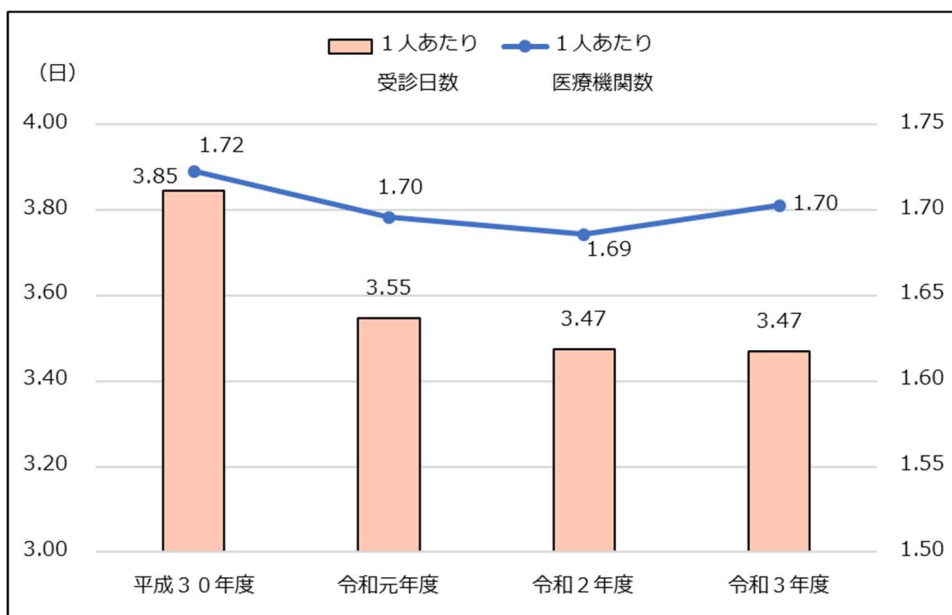
集計対象：レセプトデータ（生活保護・自立支援医療）

(15) 入院外の1か月間における受診日数および医療機関数

生活保護で課題となっている頻回受診を確認するため、平成30年～令和3年各年6月の入院外レセプトで、被保護者の受診した合計日数及び受診人数、1人あたり受診日数（受診頻度）、1人あたり受診医療機関数をみた。患者1人あたり1か月に1～2医療機関を受診している状況であった。また、1か月の1人あたり受診日数（受診頻度）は減少傾向であった。

図表 29 入院外受診日数と1人あたり1か月の受診医療機関数（6月）

	受診 合計日数	受診人数	1人あたり 受診日数	受診医療機関数	1人あたり 医療機関数
平成30年度	121,312	31,546	3.85	54,349	1.72
令和元年度	130,086	36,670	3.55	62,185	1.70
令和2年度	120,934	34,814	3.47	58,693	1.69
令和3年度	122,474	35,306	3.47	60,109	1.70



※1 人数は集計の都合上、実際の数値から若干の誤差が生じる。

集計対象：レセプトデータ（生活保護・自立支援医療）

(16) 疾病別受診日数の状況

令和3年度と平成30年度を比較すると、入院・入院外ともに多くの疾病で受診日数が減少していた。入院では「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」が顕著に多く、入院外では「高血圧性疾患」「脊椎障害（脊椎症を含む）」が多く傾向に変化はなかった。

**図表 30 疾病別受診日数
(入院)**

順位	R3						H30				
	疾病	受診日数 (日)	レセプト 件数 (件)	レセプト 金額 (千円)	レセプト 1件あたり 金額 (円)	推移	疾病	受診日数 (日)	レセプト 件数 (件)	レセプト 金額 (千円)	レセプト 1件あたり 金額 (円)
1	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	115,129	4,145	1,746,442	421,337	→	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	131,674	4,775	1,915,265	401,103
2	骨折	35,132	1,958	1,350,849	689,913	→	骨折	32,791	1,835	1,170,840	638,060
3	脳梗塞	18,865	950	783,949	825,209	→	脳梗塞	27,229	1,268	855,006	674,295
4	アルツハイマー病	18,143	690	294,107	426,242	→	アルツハイマー病	22,843	825	346,316	419,777
5	その他の心疾患	17,465	1,141	844,404	740,056	↑	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	22,006	930	343,850	369,731
6	その他の呼吸器系の疾患	16,917	964	583,345	605,130	↑	その他の心疾患	20,984	1,345	1,017,920	756,818
7	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	15,287	651	263,106	404,156	↓	血管性及び詳細不明の認知症	20,369	757	327,086	432,082
8	血管性及び詳細不明の認知症	14,752	530	239,980	452,792	↓	糖尿病	19,399	1,148	518,542	451,692
9	くも膜下出血	13,431	542	308,172	568,583	↑	その他の呼吸器系の疾患	14,923	938	487,902	520,151
10	腎不全	12,876	722	405,581	561,746	↑	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	13,843	616	272,651	442,616
11	その他の悪性新生物	12,285	922	598,506	649,138	↑	腎不全	13,523	866	422,514	487,891
12	糖尿病	12,006	743	357,477	481,126	↓	その他の悪性新生物	12,876	997	610,632	612,470
13	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	11,702	605	393,619	650,610	↑	脳内出血	12,001	528	389,357	737,419
14	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	11,114	483	223,211	462,135	↓	その他の消化器系の疾患	11,225	1,169	488,804	418,138
15	その他の精神及び行動の障害	10,800	420	179,463	427,293	↑	肺炎	11,098	790	355,785	450,361
16	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	9,886	654	322,274	492,773	↑	その他の精神及び行動の障害	10,251	401	173,616	432,956
17	その他の消化器系の疾患	9,737	967	434,726	449,562	↓	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	9,246	527	301,342	571,807
18	脳内出血	9,572	408	334,059	818,771	↓	その他の神経系の疾患	9,216	480	256,794	534,988
19	その他の神経系の疾患	8,702	459	253,798	552,937	↓	脊椎障害（脊椎症を含む）	9,054	587	393,790	670,851
20	脊椎障害（脊椎症を含む）	7,818	458	359,339	784,584	↓	その他の損傷及びその他の外因の影響	8,970	648	321,015	495,393

集計対象：レセプトデータ（生活保護・自立支援医療）

(入院外)

順位	R3						H30				
	疾病	受診日数 (日)	レセプト 件数 (件)	レセプト 金額 (千円)	レセプト 1件あたり 金額 (円)	推移	疾病	受診日数 (日)	レセプト 件数 (件)	レセプト 金額 (千円)	レセプト 1件あたり 金額 (円)
1	高血圧性疾患	130,089	70,777	1,147,043	16,206	→	高血圧性疾患	146,365	70,710	1,229,685	17,391
2	脊椎障害（脊椎症を含む）	85,727	23,102	338,075	14,634	→	脊椎障害（脊椎症を含む）	105,208	25,089	384,737	15,335
3	糖尿病	68,139	36,639	938,498	25,615	→	糖尿病	76,524	37,277	1,045,085	28,036
4	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	55,342	38,682	352,322	9,108	↑	関節症	62,595	16,963	237,255	13,987
5	関節症	55,215	16,791	227,489	13,548	↓	腎不全	57,225	6,284	1,511,347	240,507
6	腎不全	52,421	5,994	1,345,566	224,485	↓	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	54,430	33,839	315,487	9,323
7	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	44,450	25,088	365,514	14,569	→	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	45,008	21,438	352,995	16,466
8	その他の内分泌，栄養及び代謝疾患	43,421	23,058	399,087	17,308	→	その他の内分泌，栄養及び代謝疾患	44,605	21,545	380,125	17,643
9	神経症性障害，ストレス関連障害及び身体表現性障害	36,115	24,226	230,487	9,514	↑	胃炎及び十二指腸炎	35,754	13,357	208,306	15,595
10	その他の脊柱障害	30,575	9,725	131,989	13,572	↑	神経症性障害，ストレス関連障害及び身体表現性障害	35,285	22,100	212,999	9,638
11	胃炎及び十二指腸炎	28,751	12,444	179,917	14,458	↓	屈折及び調節の障害	32,952	24,922	278,466	11,173
12	屈折及び調節の障害	27,355	21,175	257,175	12,145	↓	その他の神経系の疾患	27,668	13,812	208,472	15,094
13	その他の神経系の疾患	24,918	13,698	203,285	14,840	↓	喘息	27,037	14,962	268,625	17,954
14	その他の消化器系の疾患	22,711	13,065	195,091	14,932	→	その他の消化器系の疾患	25,385	13,559	219,872	16,216
15	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	21,736	14,924	165,208	11,070	↑	骨の密度及び構造の障害	23,493	6,743	113,077	16,770
16	その他の眼及び付属器の疾患	21,613	16,867	215,187	12,758	→	その他の眼及び付属器の疾患	23,368	17,193	194,835	11,332
17	喘息	20,819	12,613	225,000	17,839	↓	皮膚炎及び湿疹	22,184	15,386	100,986	6,563
18	皮膚炎及び湿疹	20,592	14,742	101,055	6,855	↓	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	22,151	14,471	162,146	11,205
19	症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	17,066	10,637	162,745	15,300	↑	その他の損傷及びその他の外因の影響	20,298	9,471	189,572	20,016
20	骨の密度及び構造の障害	17,024	5,878	94,728	16,116	↓	椎間板障害	19,912	5,079	68,947	13,575

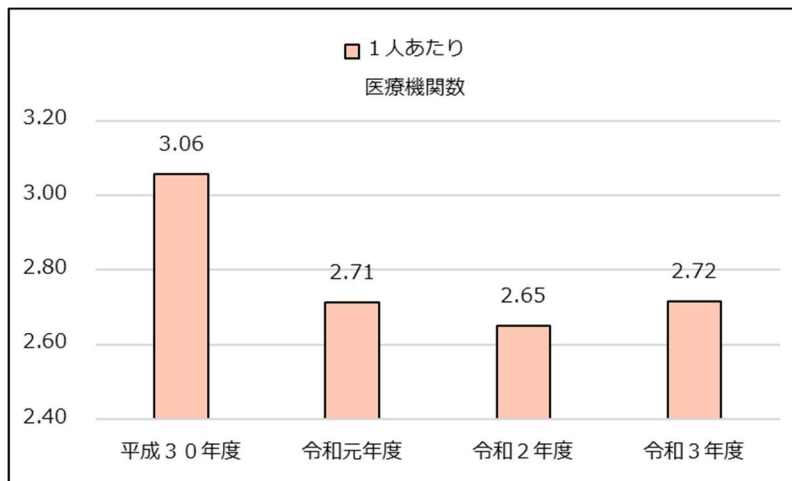
集計対象：レセプトデータ（生活保護・自立支援医療）

(17) 複数医療機関の受診状況

重複受診の傾向を把握するため、被保護者 1 人あたり 1 年間の受診医療機関数（医科）を確認した。令和 3 年度と平成 30 年度を比較すると、被保護者 1 人あたり 1 年間の受診医療機関数（医科）は平均で 2.72 か所に減少した。

図表 31 受診医療機関数（医科）

	受診医療機関数	人数	1 人あたり 医療機関数
平成 30 年度	138,675	45,363	3.06
令和元年度	137,751	50,753	2.71
令和 2 年度	127,913	48,248	2.65
令和 3 年度	130,234	47,954	2.72



※ 1 人数は集計の都合上、実際の数値から若干の誤差が生じる。

集計対象：レセプトデータ（生活保護・自立支援医療）

令和3年度と平成30年度を比較すると、重複受診者数(※)が多かった上位2疾病は「睡眠障害」「詳細不明の糖尿病」であり順位に変化はなかった。一方で、「その他の腸の機能障害」の順位が上昇した。

(※)2か月連続3医療機関以上で同一疾病での受診

**図表 32 重複受診の状況
(全年代)**

順位	R3					H30			
	疾病	重複 受診者数	疾病全体 人数	重複 割合	推移	疾病	重複 受診者数	疾病全体 人数	重複 割合
1	睡眠障害	91	20,211	0.45%	→	睡眠障害	160	17,961	0.89%
2	詳細不明の糖尿病	89	17,991	0.49%	→	詳細不明の糖尿病	158	17,809	0.89%
3	その他の腸の機能障害	86	18,316	0.47%	↑	胃炎及び十二指腸炎	114	17,916	0.64%
4	本態性（原発性＜一次性＞）高血圧（症）	76	21,034	0.36%	↑	その他の腸の機能障害	106	17,311	0.61%
5	胃炎及び十二指腸炎	67	16,960	0.40%	↓	本態性（原発性＜一次性＞）高血圧（症）	100	20,394	0.49%
6	リポタンパク＜蛋白＞代謝障害及びその他の脂血症	59	19,457	0.30%	↑	血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎＜鼻アレルギー＞	80	16,643	0.48%
7	血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎＜鼻アレルギー＞	42	13,938	0.30%	↓	リポタンパク＜蛋白＞代謝障害及びその他の脂血症	68	18,584	0.37%
8	背部痛	41	13,774	0.30%	→	背部痛	55	13,853	0.40%
9	胃食道逆流症	37	17,123	0.22%	→	胃食道逆流症	47	16,492	0.28%
10	その他の皮膚炎	30	11,909	0.25%	↑	喘息	29	9,959	0.29%

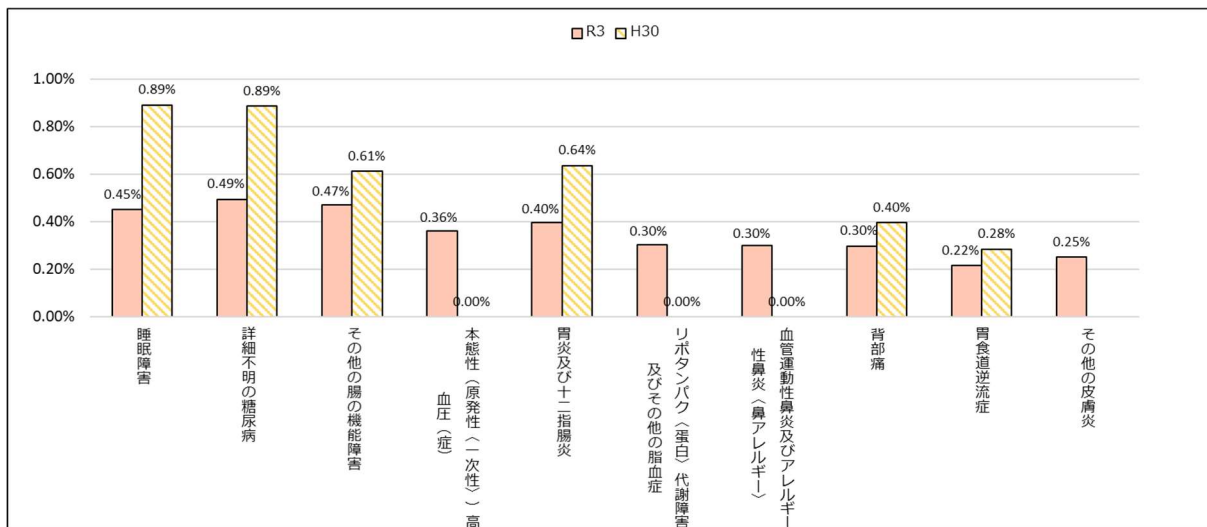
(75歳未満)

順位	R3					H30			
	疾病	重複 受診者数	疾病全体 人数	重複 割合	推移	疾病	重複 受診者数	疾病全体 人数	重複 割合
1	睡眠障害	73	14,603	0.50%	→	睡眠障害	120	12,974	0.92%
2	その他の腸の機能障害	55	10,949	0.50%	↑	詳細不明の糖尿病	115	11,993	0.96%
3	詳細不明の糖尿病	55	11,733	0.47%	↓	胃炎及び十二指腸炎	90	12,522	0.72%
4	胃炎及び十二指腸炎	53	11,643	0.46%	↓	その他の腸の機能障害	75	10,631	0.71%
5	リポタンパク＜蛋白＞代謝障害及びその他の脂血症	43	12,366	0.35%	↑	本態性（原発性＜一次性＞）高血圧（症）	69	13,028	0.53%
6	本態性（原発性＜一次性＞）高血圧（症）	41	11,805	0.35%	↓	血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎＜鼻アレルギー＞	60	11,927	0.50%
7	血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎＜鼻アレルギー＞	34	10,524	0.32%	↓	リポタンパク＜蛋白＞代謝障害及びその他の脂血症	48	12,184	0.39%
8	背部痛	30	8,967	0.33%	→	背部痛	44	9,363	0.47%
9	胃食道逆流症	28	10,629	0.26%	→	胃食道逆流症	30	10,700	0.28%
10	その他の皮膚炎	22	7,888	0.28%	↑	喘息	25	7,530	0.33%

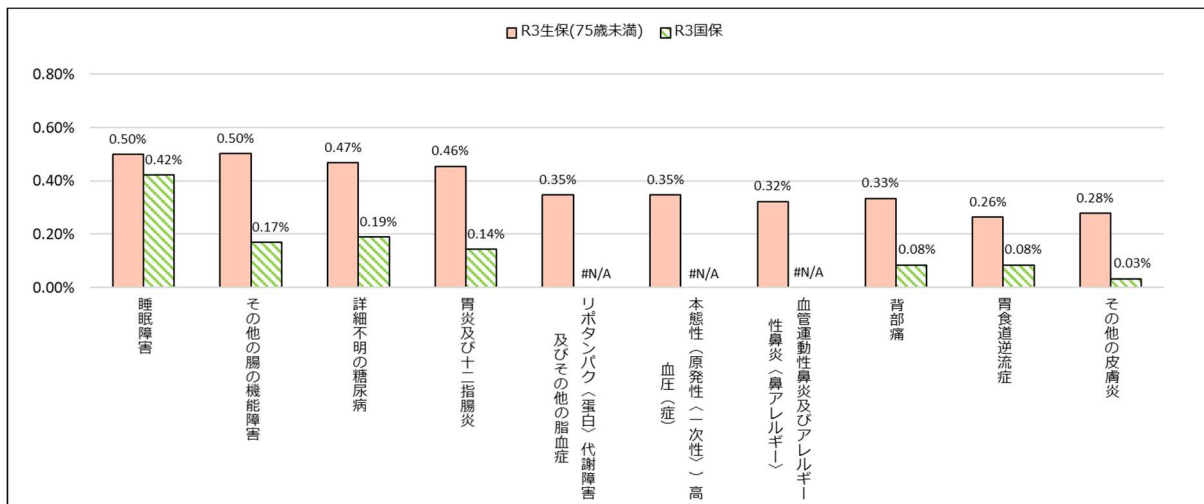
令和3年度と平成30年度の重複受診がみられる上位10疾病の重複割合を比較すると、ほぼすべての疾病で減少がみられた。

国保との比較では睡眠障害以外のすべての疾病において、重複割合は2倍以上となった。

(令和3年度、平成30年度生活保護比較)



(令和3年度 生活保護、国保比較)



※1 人数は集計の都合上、実際の数値から若干の誤差が生じる。

集計対象：レセプトデータ(生活保護・自立支援医療)

レセプトデータ(国保)

(18) 重複処方状況

重複処方(※)される医薬品で多いのは、ムコスタなどの胃炎・胃腸炎粘膜保護剤、マグミットなどの制酸・緩下剤、ロキソニンなどの解熱鎮痛薬に加え、マイスリー、サイレースなどの睡眠薬があげられる。令和3年度と平成30年度を比較すると、ロヒプノールやデパスなどの睡眠薬が減少した一方、タケキャブといった胃炎・胃腸炎粘膜保護剤が増加した。

(※)同一月に複数の医療機関から同一成分の医薬品をそれぞれ14日以上処方

図表 33 重複処方の状況
(全年代)

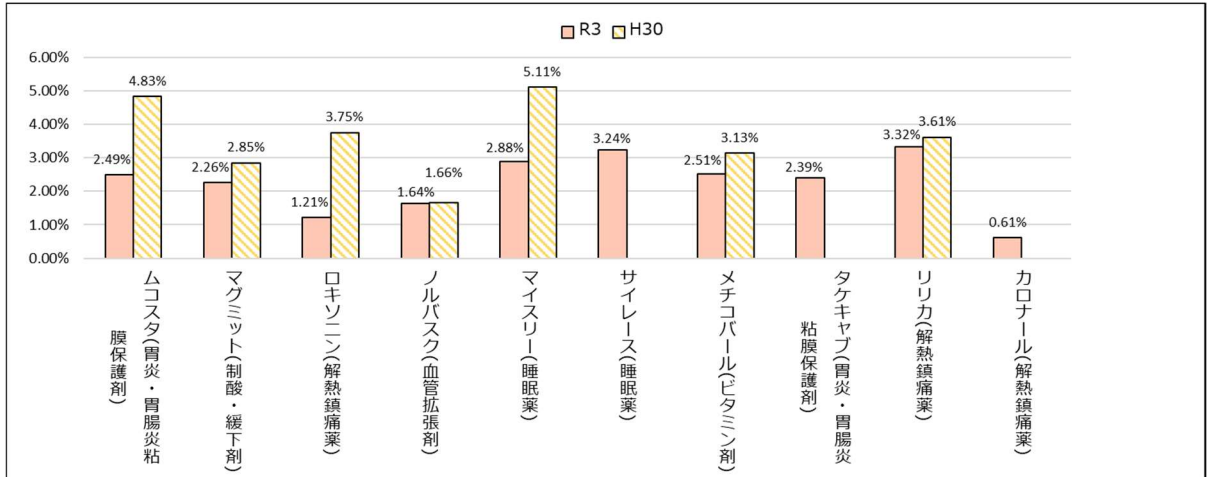
順位	R3					H30				
	薬剤例（薬効）	重複 処方者数	疾病全体 人数	重複 割合	推移	薬剤例（薬効）	重複 処方者数	疾病全体 人数	重複 割合	
1	ムコスタ(胃炎・胃腸炎粘膜保護剤)	319	12,798	2.49%	→	ムコスタ(胃炎・胃腸炎粘膜保護剤)	399	8,264	4.83%	
2	マグミット(制酸・緩下剤)	189	8,350	2.26%	↑	ロキソニン(解熱鎮痛薬)	224	5,974	3.75%	
3	ロキソニン(解熱鎮痛薬)	162	13,337	1.21%	↓	マグミット(制酸・緩下剤)	213	7,476	2.85%	
4	ノルバスク(血管拡張剤)	150	9,138	1.64%	↑	マイスリー(睡眠薬)	187	3,658	5.11%	
5	マイスリー(睡眠薬)	120	4,173	2.88%	↓	ロヒプノール(睡眠薬)	171	3,526	4.85%	
6	サイレース(睡眠薬)	110	3,392	3.24%	↑	ノルバスク(血管拡張剤)	142	8,537	1.66%	
7	メチコパール(ビタミン剤)	101	4,027	2.51%	↑	デパス(睡眠薬)	141	3,143	4.49%	
8	タケキャブ(胃炎・胃腸炎粘膜保護剤)	98	4,098	2.39%	↑	メチコパール(ビタミン剤)	130	4,154	3.13%	
9	リリカ(解熱鎮痛薬)	93	2,798	3.32%	→	リリカ(解熱鎮痛薬)	114	3,155	3.61%	
10	カロナール(解熱鎮痛薬)	93	15,197	0.61%	↑	レンドルミン(睡眠薬)	114	3,797	3.00%	

(75 歳未満)

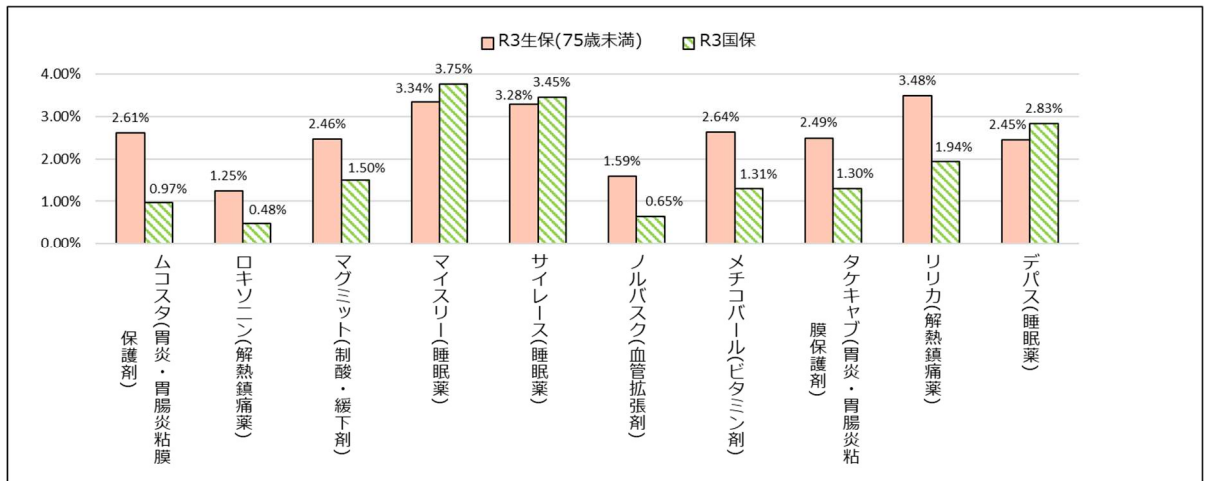
順位	R3					H30				
	薬剤例（薬効）	重複 処方者数	疾病全体 人数	重複 割合	推移	薬剤例（薬効）	重複 処方者数	疾病全体 人数	重複 割合	
1	ムコスタ(胃炎・胃腸炎粘膜保護剤)	243	9,299	2.61%	→	ムコスタ(胃炎・胃腸炎粘膜保護剤)	282	5,843	4.83%	
2	ロキソニン(解熱鎮痛薬)	127	10,200	1.25%	→	ロキソニン(解熱鎮痛薬)	175	4,439	3.94%	
3	マグミット(制酸・緩下剤)	114	4,634	2.46%	↑	ロヒプノール(睡眠薬)	159	3,228	4.93%	
4	マイスリー(睡眠薬)	104	3,113	3.34%	→	マイスリー(睡眠薬)	148	2,743	5.40%	
5	サイレース(睡眠薬)	101	3,079	3.28%	↑	マグミット(制酸・緩下剤)	129	4,240	3.04%	
6	ノルバスク(血管拡張剤)	76	4,781	1.59%	↑	デパス(睡眠薬)	105	2,369	4.43%	
7	メチコパール(ビタミン剤)	71	2,694	2.64%	→	メチコパール(ビタミン剤)	92	2,799	3.29%	
8	タケキャブ(胃炎・胃腸炎粘膜保護剤)	67	2,689	2.49%	↑	ノルバスク(血管拡張剤)	87	4,747	1.83%	
9	リリカ(解熱鎮痛薬)	65	1,868	3.48%	→	リリカ(解熱鎮痛薬)	79	2,219	3.56%	
10	デパス(睡眠薬)	60	2,452	2.45%	↓	レンドルミン(睡眠薬)	77	2,654	2.90%	

75歳未満で、上位10成分の医薬品における重複処方の割合を国保と比較すると、ムコスタ、ロキソニンなどは2倍以上と差がついた一方で、マイスリー、サイレース、デパスといった睡眠薬は国保と大きな差はなかった。

(令和3年度、平成30年度生活保護比較)



(令和3年度 生活保護、国保比較)



※ 1 人数は集計の都合上、実際の数値から若干の誤差が生じる。

集計対象：レセプトデータ（生活保護・自立支援医療）

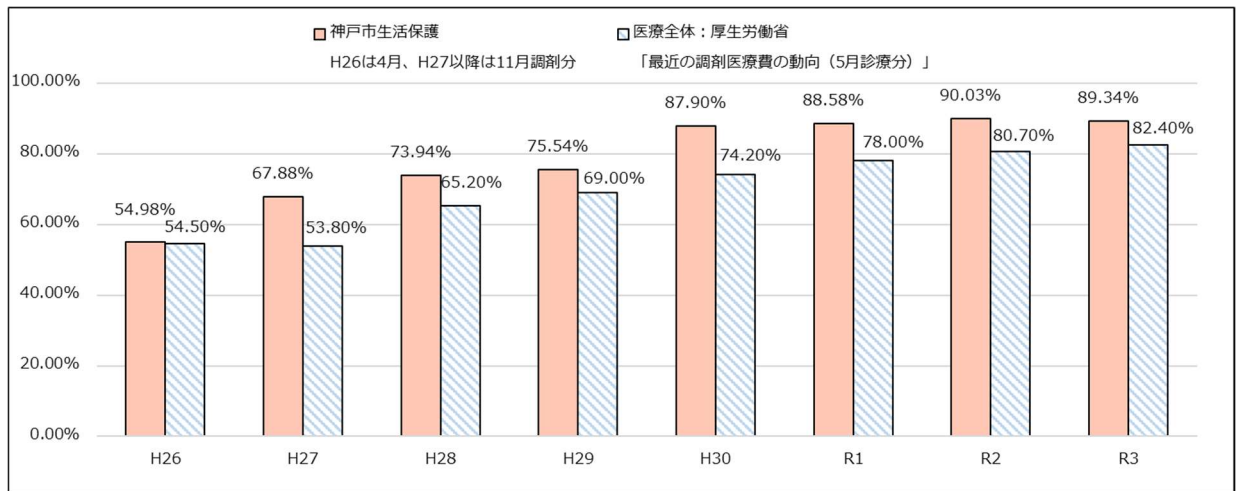
レセプトデータ（国保）

(19) ジェネリック医薬品の使用状況

ジェネリック医薬品の使用率（数量ベース）の推移をみると、平成 29 年度までは徐々に増加傾向にあったが、生活保護においては原則ジェネリック医薬品使用となったことを契機として、平成 30 年度に急増した。令和元年度以降は横ばいである。

図表 34 ジェネリック医薬品使用率（数量ベース）の推移

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
神戸市生活保護 H26は4月、H27以降は11月調剤分	54.98%	67.88%	73.94%	75.54%	87.90%	88.58%	90.03%	89.34%
生活保護：厚生労働省 「医療扶助実態調査（各年6月審査分）」	58.70%	63.80%	69.80%	72.70%	77.60%	86.19%	87.80%	87.70%
医療全体：厚生労働省 「最近の調剤医療費の動向（5月診療分）」	54.50%	53.80%	65.20%	69.00%	74.20%	78.00%	80.70%	82.40%



集計対象：レセプトデータ（生活保護）

出典：厚生労働省「医療扶助実態調査」「最近の調剤医療費の動向」

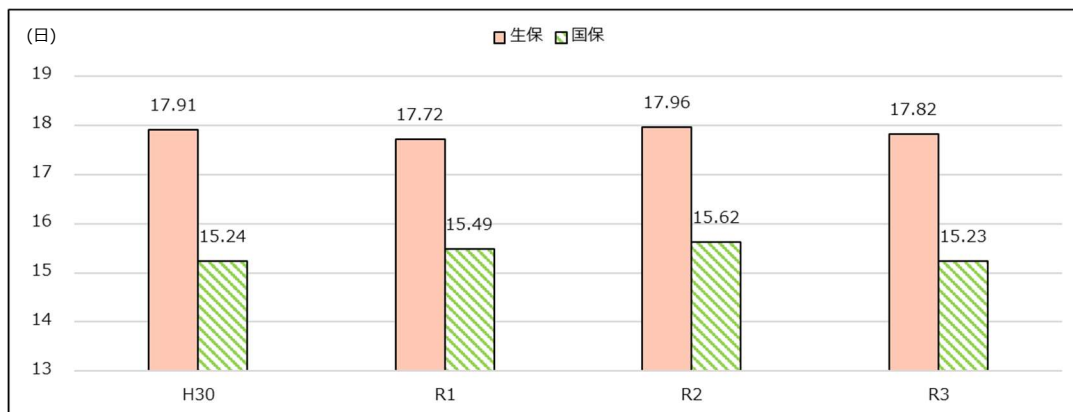
(20) 入院レセプトの状況

生活保護の合計入院日数は平成 30 年度から令和 3 年度にかけて減少傾向である。また、入院レセプト 1 件あたり日数は平成 30 年度より大きな変化はなく、生活保護（75 歳未満）で国保より長い傾向であった。

図表 35 年間入院日数

	年代	生活保護			国保		
		合計入院 日数(日)	レセプト 件数(件)	1 件あたり 日数(日)	合計入院 日数(日)	レセプト 件数(件)	1 件あたり 日数(日)
平成 30 年度	75 歳未満	339,450	18,958	17.91	1,155,095	75,788	15.24
	全体	579,514	32,248	17.97	-	-	-
令和元年度	75 歳未満	333,791	18,834	17.72	1,013,843	65,459	15.49
	全体	585,198	32,933	17.77	-	-	-
令和 2 年度	75 歳未満	306,360	17,057	17.96	1,008,472	64,567	15.62
	全体	555,687	30,689	18.11	-	-	-
令和 3 年度	75 歳未満	286,835	16,097	17.82	1,029,814	67,601	15.23
	全体	523,421	29,142	17.96	-	-	-

(75 歳未満 レセプト 1 件あたり入院日数)



集計対象：レセプトデータ（生活保護・自立支援医療）

レセプトデータ（国保）

令和3年度と平成30年度の生活保護、全年代の疾病別入院日数を比較すると「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」が顕著に長く、次いで「骨折」、「脳梗塞」と上位の疾病の傾向に変化はなかった。「くも膜下出血」、「腎不全」の入院日数が大きく増加した。

図表 36 疾病別の入院日数
(生活保護 全年代)

順位	R3					H30				
	疾病	入院日数 (日)	レセプト 件数(件)	1件あたり (日)	推移	疾病	入院日数 (日)	レセプト 件数(件)	1件あたり (日)	
1	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	115,129	4,145	27.8	→	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	131,674	4,775	27.6	
2	骨折	35,132	1,958	17.9	→	骨折	32,278	1,809	17.8	
3	脳梗塞	18,865	950	19.9	→	脳梗塞	27,202	1,266	21.5	
4	アルツハイマー病	18,143	690	26.3	→	アルツハイマー病	22,843	825	27.7	
5	その他の心疾患	17,465	1,141	15.3	↑	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	21,998	929	23.7	
6	その他の呼吸器系の疾患	16,917	964	17.5	↑	その他の心疾患	20,649	1,312	15.7	
7	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	15,287	651	23.5	↓	血管性及び詳細不明の認知症	20,369	757	26.9	
8	血管性及び詳細不明の認知症	14,752	530	27.8	↓	糖尿病	18,341	1,088	16.9	
9	くも膜下出血	13,431	542	24.8	↑	その他の呼吸器系の疾患	14,829	930	15.9	
10	腎不全	12,876	722	17.8	↑	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	13,843	616	22.5	
11	その他の悪性新生物	12,285	922	13.3	→	その他の悪性新生物	12,832	994	12.9	
12	糖尿病	12,006	743	16.2	↓	脳内出血	11,635	515	22.6	
13	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	11,702	605	19.3	↑	その他の消化器系の疾患	11,132	1,154	9.6	
14	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	11,114	483	23.0	↓	肺炎	10,921	780	14.0	
15	その他の精神及び行動の障害	10,800	420	25.7	→	その他の精神及び行動の障害	10,190	399	25.5	
16	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	9,886	654	15.1	↑	その他の神経系の疾患	9,116	474	19.2	
17	その他の消化器系の疾患	9,737	967	10.1	↓	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	9,013	512	17.6	
18	脳内出血	9,572	408	23.5	↓	脊椎障害（脊椎症を含む）	9,002	581	15.5	
19	その他の神経系の疾患	8,702	459	19.0	↓	腎不全	8,924	523	17.1	
20	脊椎障害（脊椎症を含む）	7,818	458	17.1	↓	その他の損傷及びその他の外因の影響	8,768	632	13.9	

集計対象：レセプトデータ（生活保護・自立支援医療）

75 歳未満の被保護者の疾病別入院日数を国保と比較したところ、「統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害」が最も長く、平成 30 年度から傾向に変化はなかった。2 位は国保が「その他の悪性新生物」なのに対し、生活保護は「精神作用物質使用による精神等障害」であった。

（生活保護 75 歳未満）

順位	R3					H30			
	疾病	入院日数 (日)	レセプト 件数(件)	1 件あたり (日)	推移	疾病	入院日数 (日)	レセプト 件数(件)	1 件あたり (日)
1	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	101,388	3,655	27.7	→	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	118,164	4,298	27.5
2	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	14,171	609	23.3	→	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	20,160	857	23.5
3	骨折	9,351	597	15.7	↑	脳梗塞	11,966	584	20.5
4	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	8,163	373	21.9	→	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	10,866	507	21.4
5	その他の精神及び行動の障害	8,141	313	26.0	↑	骨折	9,563	631	15.2
6	脳梗塞	7,582	425	17.8	↓	その他の精神及び行動の障害	9,372	356	26.3
7	その他の悪性新生物	7,456	572	13.0	↑	糖尿病	9,167	614	14.9
8	糖尿病	6,673	462	14.4	↓	脳内出血	7,811	350	22.3
9	脳内出血	6,214	259	24.0	↓	その他の悪性新生物	7,168	598	12.0
10	その他の心疾患	5,958	417	14.3	→	その他の心疾患	6,279	486	12.9
11	腎不全	5,830	364	16.0	↑	その他の消化器系の疾患	6,245	662	9.4
12	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	5,281	290	18.2	↑	その他の神経系の疾患	6,193	326	19.0
13	その他の呼吸器系の疾患	5,224	332	15.7	↑	血管性及び詳細不明の認知症	5,336	195	27.4
14	その他の神経系の疾患	4,649	270	17.2	↓	アルツハイマー病	5,336	190	28.1
15	血管性及び詳細不明の認知症	4,623	164	28.2	↓	慢性閉塞性肺疾患	4,914	224	21.9
16	その他の消化器系の疾患	4,427	504	8.8	↓	神経症性障害，ストレス関連障害及び身体表現性障害	4,463	211	21.2
17	アルツハイマー病	4,292	157	27.3	↓	その他の損傷及びその他の外因の影響	4,339	349	12.4
18	くも膜下出血	4,001	173	23.1	↑	脊椎障害（脊椎症を含む）	4,322	321	13.5
19	その他の内分泌，栄養及び代謝疾患	3,840	296	13.0	↑	その他の呼吸器系の疾患	4,055	326	12.4
20	気管，気管支及び肺の悪性新生物	3,140	229	13.7	↑	腎不全	3,918	253	15.5

集計対象：レセプトデータ（生活保護・自立支援医療）

(国保)

順位	R3					H30			
	疾病	入院日数 (日)	レセプト 件数(件)	1件あたり (日)	推移	疾病	入院日数 (日)	レセプト 件数(件)	1件あたり (日)
1	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	231,302	8,109	28.5	→	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	276,422	9,681	28.6
2	その他の悪性新生物	47,075	4,590	10.3	→	その他の悪性新生物	54,660	4,858	11.3
3	骨折	41,590	2,928	14.2	→	骨折	42,916	3,042	14.1
4	その他の神経系の疾患	36,653	1,890	19.4	→	その他の神経系の疾患	38,190	2,096	18.2
5	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	33,840	1,153	29.3	↑	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	36,232	1,458	24.9
6	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	32,691	1,332	24.5	↓	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	35,793	1,207	29.7
7	脳梗塞	30,144	1,689	17.8	→	脳梗塞	30,891	1,705	18.1
8	脳内出血	28,186	1,248	22.6	↑	てんかん	29,621	1,218	24.3
9	てんかん	27,092	1,114	24.3	↓	その他の消化器系の疾患	27,535	3,950	7.0
10	くも膜下出血	26,012	1,072	24.3	→	くも膜下出血	23,377	1,009	23.2
11	その他の消化器系の疾患	23,772	3,413	7.0	↓	その他の心疾患	23,127	2,070	11.2
12	その他の精神及び行動の障害	20,360	766	26.6	↑	脳内出血	22,920	1,071	21.4
13	その他の呼吸器系の疾患	19,044	1,340	14.2	↑	糖尿病	21,649	1,468	14.7
14	その他の心疾患	17,882	1,743	10.3	↓	その他の精神及び行動の障害	21,610	815	26.5
15	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	17,682	1,072	16.5	↑	その他の損傷及びその他の外因の影響	20,342	1,683	12.1
16	関節症	17,487	1,233	14.2	↑	気管, 気管支及び肺の悪性新生物	19,121	1,592	12.0
17	知的障害<精神遅滞>	15,858	552	28.7	↑	関節症	18,277	1,279	14.3
18	その他の損傷及びその他の外因の影響	15,846	1,327	11.9	↓	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	18,122	797	22.7
19	腎不全	15,298	950	16.1	↑	その他の呼吸器系の疾患	18,006	1,442	12.5
20	糖尿病	14,119	1,050	13.4	↓	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	17,207	1,093	15.7

集計対象：レセプトデータ（国保）

6か月以上の長期入院レセプト(※)を、疾病別に確認すると、「統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害」「アルツハイマー病」など、精神疾患、神経系疾患で長期入院をしている傾向がみられた。これらの長期入院者数が減少した一方、「脳梗塞」「脳内出血」などの循環器系疾患の順位が上昇している。

(※)主たる疾病、もしくは入院の契機となった疾病について集計

図表 37 主病名による 6 か月以上の入院患者数（疾病別）

順位	R3				H30			
	疾病	6～12か月（人）		推移	疾病	6～12か月（人）		
		内、12か月(人)				内、12か月(人)		
1	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	311	162	→	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	353	201	
2	脳梗塞	59	10	↑	アルツハイマー病	65	34	
3	アルツハイマー病	47	12	↓	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	56	23	
4	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	36	14	↓	血管性及び詳細不明の認知症	59	18	
5	脳内出血	35	13	↑	その他の精神及び行動の障害	32	16	
6	血管性及び詳細不明の認知症	34	14	↓	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	35	14	
7	腎不全	28	6	↑	脳梗塞	55	12	
8	その他の精神及び行動の障害	25	7	↓	糖尿病	33	9	
9	その他の心疾患	25	4	↑	慢性閉塞性肺疾患	22	8	
10	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	23	9	↓	その他の神経系の疾患	14	7	
11	骨折	21	5	↑	パーキンソン病	13	5	
12	その他の神経系の疾患	19	8	↓	高血圧性疾患	27	5	
13	その他の呼吸器系の疾患	17	2	↑	脳内出血	16	5	
14	糖尿病	16	2	↓	その他の心疾患	32	5	
15	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	15	3	↑	知的障害＜精神遅滞＞	10	5	
16	気管，気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	12	0	↑	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	20	4	
17	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	12	3	↑	その他の損傷及びその他の外因の影響	12	4	
18	慢性閉塞性肺疾患	11	5	↓	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	13	4	
19	パーキンソン病	10	4	↓	虚血性心疾患	8	4	
20	脊椎障害（脊椎症を含む）	10	2	↑	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	7	3	

※ 1 人数は集計の都合上、実際の数値から若干の誤差が生じる。

4. 健康診査の状況

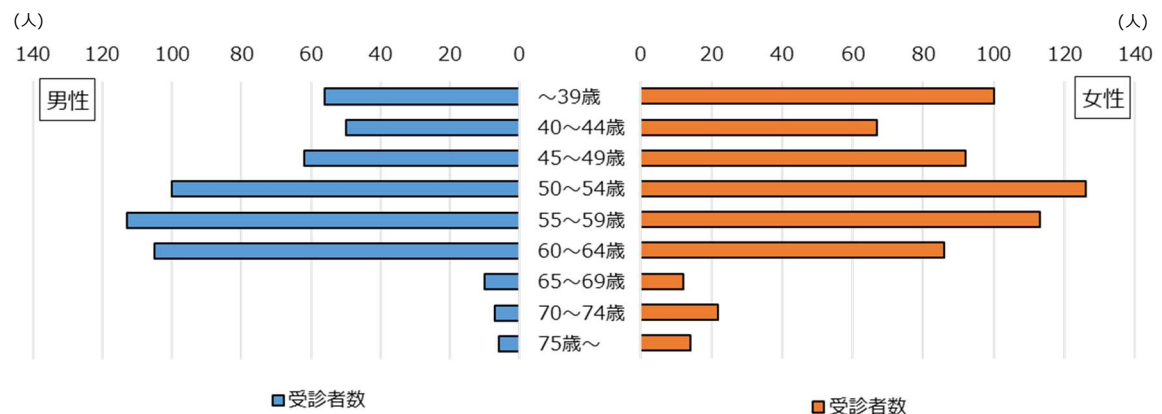
(1) 健康診査の受診状況

令和3年度の健診受診者数は、平成30年度の約4倍の1,141名であった。男女比では女性がやや多く、年代では50～64歳の受診者数が多かった。平成30年度と比較し、65歳未満の受診者数が大きく伸びている。

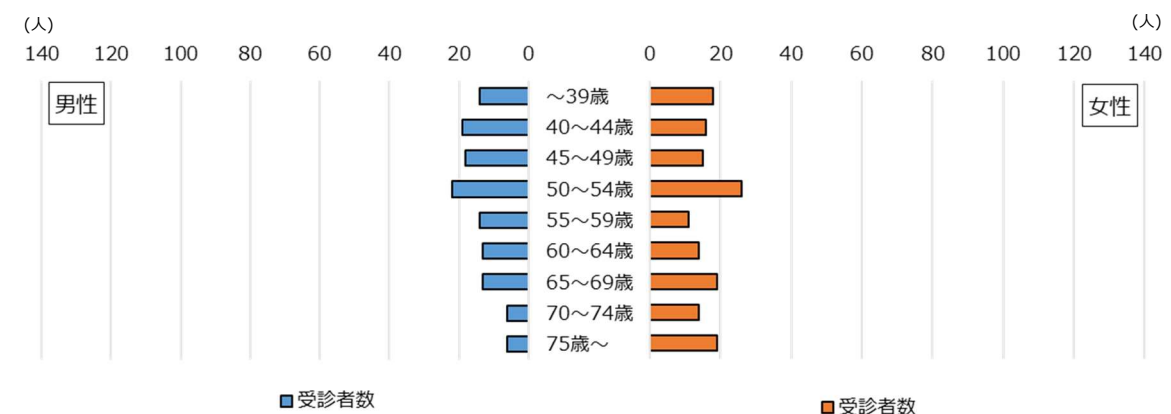
図表 38 健康診査受診状況

	R3						H30					
	男		女		合計		男		女		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
～39歳	56	11%	100	16%	156	14%	14	11%	18	12%	32	12%
40～44歳	50	10%	67	11%	117	10%	19	15%	16	11%	35	13%
45～49歳	62	12%	92	15%	154	13%	18	14%	15	10%	33	12%
50～54歳	100	20%	126	20%	226	20%	22	18%	26	17%	48	17%
55～59歳	113	22%	113	18%	226	20%	14	11%	11	7%	25	9%
60～64歳	105	21%	86	14%	191	17%	13	10%	14	9%	27	10%
65～69歳	10	2%	12	2%	22	2%	13	10%	19	13%	32	12%
70～74歳	7	1%	22	3%	29	3%	6	5%	14	9%	20	7%
75歳～	6	1%	14	2%	20	2%	6	5%	19	13%	25	9%
合計	509	100%	632	100%	1,141	100%	125	100%	152	100%	277	100%

(令和3年度)



(平成30年度)

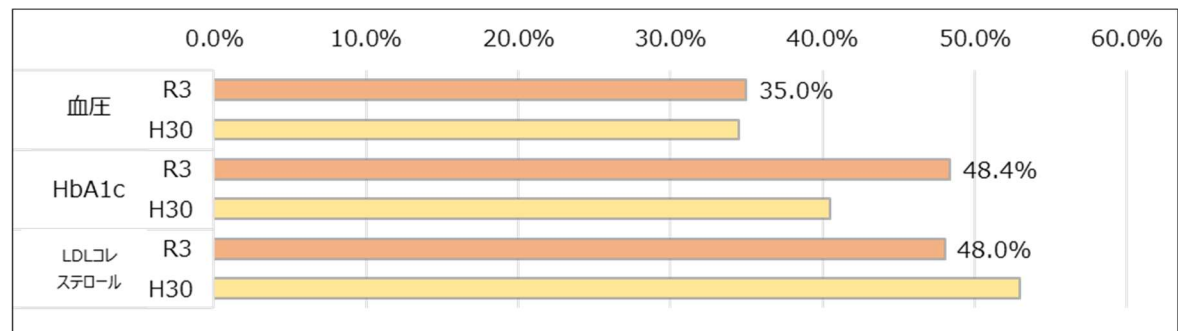


集計対象：神戸市健康診査、健康サポート健診

(2) 有所見者の割合

健診における検査結果から、血圧、血糖（HbA1c）、脂質（LDL コレステロール）の有所見者の割合は、血圧では 35%、血糖、脂質では約 48%であった。平成 30 年度と比較すると、血圧に大きな変化はなかったが、血糖は大きく増加し脂質は減少した。

図表 39 血圧・HbA1c・LDL コレステロールの有所見者割合



集計対象：神戸市健康診査、けんこうサポート健診

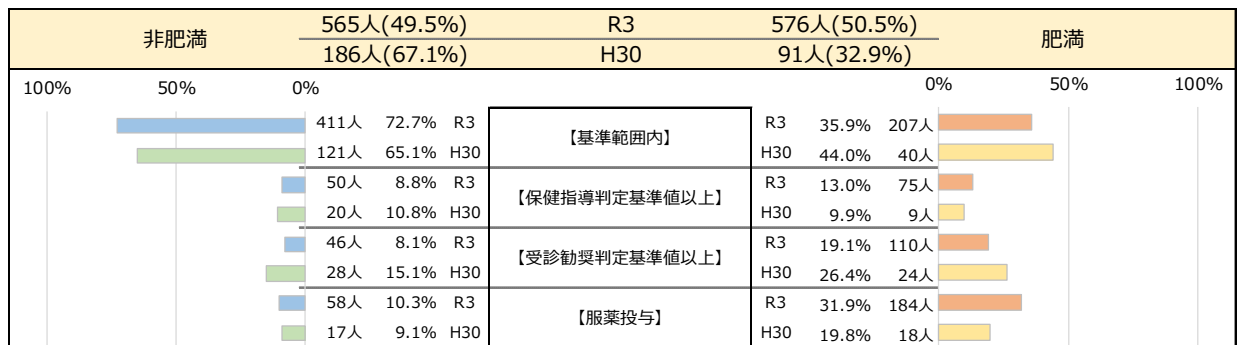
(3) 肥満・非肥満におけるリスク保有状況

平成 30 年度と令和 3 年度を比較すると、肥満者の割合が 50.5%に増加した。

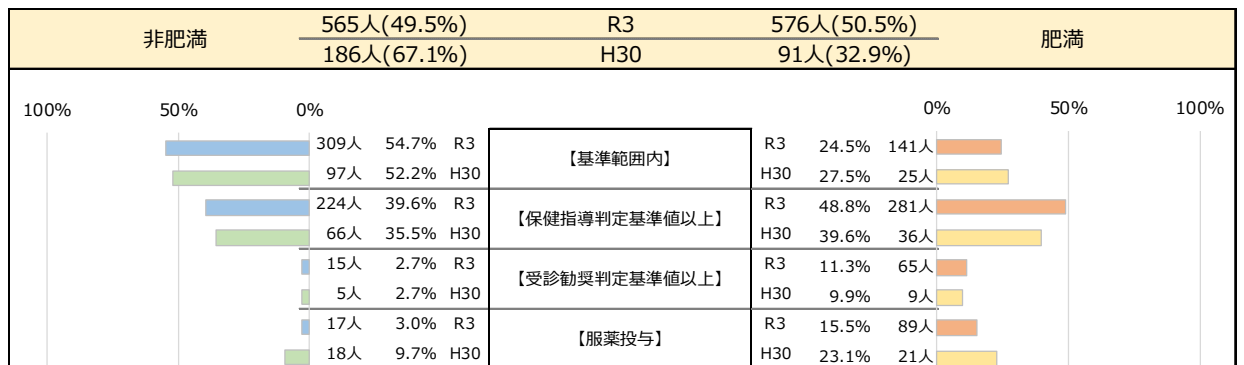
肥満者（腹囲・BMI が基準値を超える者）と非肥満者で、検査結果を保健指導判定基準値、受診勧奨判定基準値で分類したところ、基準範囲を超える者は、肥満者に多く存在していた。令和 3 年度と平成 30 年度の肥満者の構成割合を比較すると、血圧では服薬投与、血糖では保健指導判定基準値以上、脂質では服薬投与の割合が増加した。

図表 40 肥満 非肥満のリスク保有状況

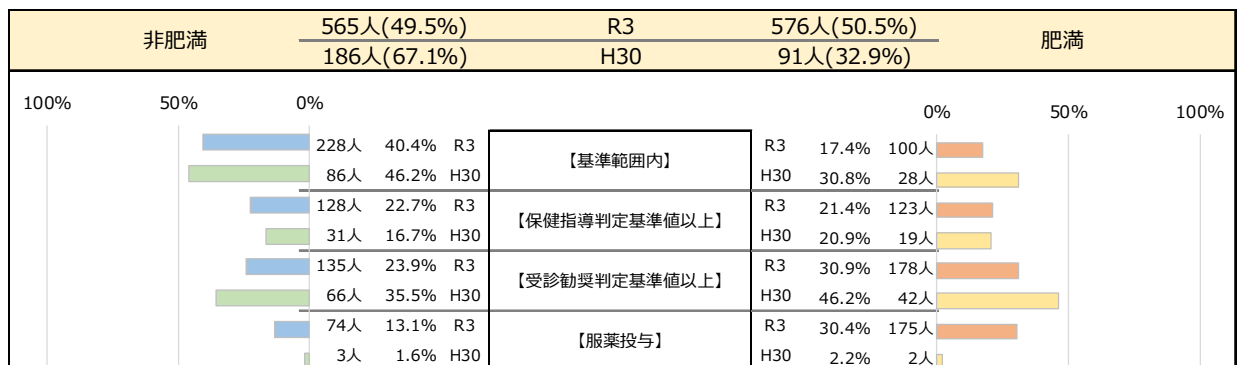
①血圧



②血糖



③脂質



集計対象：神戸市健康診査、けんこうサポート健診

(4) 慢性腎臓病（CKD）リスク者の状況

健康診査における血清クレアチニン値、性別、年齢から計算される eGFR（推算糸球体ろ過量）と尿蛋白検査結果から慢性腎臓病（CKD）重症度分類に従い、リスクの状況を確認した。G3a 以上の eGFR の低下がみられる者が増加しているが、平成 30 年度と比較して服薬投与ありの健診受診者が増加した影響が大きい。

図表 41 慢性腎臓病（CKD）リスク者の状況

(令和 3 年度)

eGFR区分 (mL/分/1.73m)			尿蛋白 (-)		尿蛋白 (±)		尿蛋白 (+)		尿蛋白 (2+)		尿蛋白 (3+)	
			人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
G1	正常または高値	≥90	179	16.8%	0	0.0%	5	16.1%	1	5.9%	0	0.0%
G2	正常又は軽度低下	60~89	750	70.5%	3	100.0%	15	48.4%	10	58.8%	1	14.3%
G3a	軽度～中等度低下	45~59	119	11.2%	0	0.0%	6	19.4%	2	11.8%	2	28.6%
G3b	中等度～高度低下	30~44	15	1.4%	0	0.0%	2	6.5%	1	5.9%	2	28.6%
G4	高度低下	15~29	1	0.1%	0	0.0%	2	6.5%	1	5.9%	1	14.3%
G5	末期腎不全	<15	0	0.0%	0	0.0%	1	3.2%	2	11.8%	1	14.3%

(平成 30 年度)

eGFR区分 (mL/分/1.73m)			尿蛋白 (-)		尿蛋白 (±)		尿蛋白 (+)		尿蛋白 (2+)		尿蛋白 (3+)	
			人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
G1	正常または高値	≥90	65	25.2%	0	0.0%	2	18.2%	1	33.3%	1	100.0%
G2	正常又は軽度低下	60~89	172	66.7%	1	100.0%	8	72.7%	2	66.7%	0	0.0%
G3a	軽度～中等度低下	45~59	21	8.1%	0	0.0%	1	9.1%	0	0.0%	0	0.0%
G3b	中等度～高度低下	30~44	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
G4	高度低下	15~29	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
G5	末期腎不全	<15	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

集計対象：神戸市健康診査、健康サポート健診

5. まとめ

・世帯人員別世帯数の推移では、1人世帯割合が平成26年度以降年々上昇している。また、世帯類型（構成比）の推移では、高齢者世帯割合が平成26年以降増加傾向が継続しており令和3年度に53.5%に達している。被保護人員の1人世帯化、高齢化が進行しており、高齢者の特性に合わせた、疾病予防・介護予防等を一体的に検討するニーズが高まっている。

【2-2. 世帯人員別世帯数の推移】、【2-3. 世帯類型（構成比）の推移】、
【2-4. 年齢別被保護人員の推移】

・生活保護の医療費等の推移では、令和元年度以降の医療費は減少傾向となっている。医療費の増減については、令和元年度末より新型コロナウイルス感染症が感染拡大したことに注意が必要である。まん延防止等重点措置等により間接的に医療機関受診控えが増加したことによる一時的な医療費抑制効果、手指消毒やマスクなどの感染予防策の浸透による疾病構造の変化、新型コロナウイルスにかかる医療費の公費負担等が医療費に影響を与えている。

【3-1. 生活保護の医療費等の推移】

・レセプト1件あたり医療費の推移では、レセプト1件あたり医科入院費が平成26年度以降増加傾向である。増加要因として、平成26年度以降の診療報酬本体部分のプラス改定、医療の高度化や高額薬剤の登場による診療単価の上昇、被保護者の高齢化等の影響が考えられる。一方、レセプト1件あたり調剤費が平成29年度以降減少傾向となっており、診療報酬薬価部分のマイナス改定の影響が考えられる。

【3-2. レセプト1件あたり医療費の推移】

・制度別の1人あたり医療費では、平成30年度と比較して令和3年度の25歳から65歳未満の1人あたり医療費は減少しているが、国保との比較において依然高額である。人工透析・糖尿病合併症の状況を確認すると、令和3年度の糖尿病合併症割合において、国保と比較して人工透析、糖尿病性腎症等の合併症割合が高くなっている。1人あたり医療費が高額となっている要因として糖尿病が重症化している者が多いことがあげられる。さらに、被保護者の医療機関受診状況を確認すると、平成30年度と比較して令和3年度の生活習慣病3疾患のうちすべてを合併する者の割合が11.7%から13.1%へ増加している。2疾患を合併する者の割合も増加しており、重症化リスクの高い者が増加している。

【3-3. 制度別の1人あたり医療費】、【3-9. 被保護者の医療機関受診状況】、
【3-11. 人工透析・糖尿病合併症の状況】

・疾病大分類別医療費では、平成30年度と比較して循環器系の疾患の医療費は減少しているものの、依然1位であった。また、「損傷、中毒及びその他の外因の影響」及び「特殊目的用コード」が増加しており、レセプトにて内訳を確認すると、「損傷、中毒及びその他の外因の影響」では「大腿骨骨折」などの骨折の医療費が高く、「特殊目的用コード」では「新型コロナウイルス感染症」が主な疾患である。

疾病中分類別医療費では、「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」、「高血圧性疾患」、「糖尿病」、「腎不全」の医療費は平成30年度より減少したものの、患者数は増加した。

入院医療費では、「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」が平成30年度と比較す

ると減少している。しかしながら、これが医療費の多くを占めており、また、6か月以上の入院患者数が最も多い状況も依然として続いている。

入院外医療費では、上位3位を「高血圧性疾患」、「糖尿病」、「腎不全」の生活習慣病が占めるが、「気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）」、「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」などの精神疾患にかかる医療費も増加している。

【3-4. 疾病別の医療費（疾病大分類）】、【3-5. 疾病別の医療費（疾病中分類）】、
【3-20. 入院レセプトの状況】

・疾病別の医療費（疾病大分類）では、「循環器系の疾患」（1位）、「新生物」（3位）、「内分泌、栄養及び代謝疾患」（4位）、「腎尿路生殖器系の疾患」（6位）となっており、生活習慣病と関連する医療費が高い。生活習慣病の医療費では、「高血圧性疾患」、「脳血管疾患」、「糖尿病」、「腎不全」で約8割を占める。特に、「高血圧性疾患」及び「糖尿病」では、国保と比較して30歳代より1人あたり医療費が高くなっており、年齢が高くなるにつれて差が拡大する。これは、「高血圧症」や「糖尿病」が重症化し他の疾病を合併することによるものと考えられ、若年層から生活習慣病予防に取り組むことが重要である。

さらに、悪性新生物においても糖尿病、肥満、飲酒、喫煙などの生活習慣が発症・重症化リスクとなることが知られており、増加傾向にある新生物の医療費を抑制するためにも生活習慣病予防は重要である。

【3-4. 疾病別の医療費（疾病大分類）】、【3-7. 生活習慣病の医療費】、
【3-8. 年代別にみた生活習慣病等の医療費】、【3-9. 被保護者の医療機関受診状況】

・複数医療機関の受診状況における重複受診の状況では、「睡眠障害」がもっとも多く、「詳細不明の糖尿病」「本態性（原発性＜一次性＞）高血圧（症）」「リポタンパク＜蛋白＞代謝障害及びその他の脂血症」などの生活習慣病、「その他の腸の機能障害」、「胃炎及び十二指腸炎」などの胃腸障害が多い。重複処方状況では、「睡眠障害」に対して主に用いられる「マイスリー」、「サイレース」などの睡眠薬が重複処方されており、依存性、耐性を生じている可能性がある。また、一般に有病率の高い疾患で重複処方が発生しており、「その他の腸の機能障害」に対して主に用いられる「マグミット」、「胃炎及び十二指腸炎」に対して主に用いられる「ムコスタ」、「タケキャブ」、痛みや発熱に対して主に用いられる「ロキソニン」、「リリカ」、「カロナール」が該当する。

【3-17. 複数医療機関の受診状況】、【3-18. 重複処方状況】

・入院レセプトの状況における疾患別入院日数では、平成30年度と比較し、令和3年度の「くも膜下出血」「腎不全」が大幅に増加した。また、レセプト1件当たり診療日数では、「その他の筋骨格系及び結合組織の疾患」が大きくなっており、この疾患のレセプトを確認したところ、主に廃用症候群が含まれる。単身世帯、高齢世帯割合が高いことから在宅環境でのケアが困難であるという側面も考慮しなくてはならない。

【3-20. 入院レセプトの状況】

・健診受診人数について、65歳未満の年代で受診者数が大幅に増加した。健診結果では、HbA1cの有所見者の増加率が最も大きかった。

【4-1. 健康診査の受診状況】、【4-2. 有所見者の割合】

6. 計画に基づく保健事業の中間評価

(1) 健診受診勧奨

事業名	健診受診勧奨
目的	健診受診率の向上による生活習慣病発症予防、早期発見・早期治療による健康寿命の延伸
目標	生活習慣病の患者数の減少
事業内容	全被保護世帯への健診制度の周知、重点勧奨対象者への健診受診券送付及び健診受診勧奨等
対象者	全被保護世帯（重点勧奨対象者（次のすべてを満たす対象者①30～64歳②社会保険、更生医療の適用者以外③施設入所者、長期入院者以外））

事業評価・実績等

ストラクチャー	評価指標	評価			
	予算の確保	事業執行に必要な予算を十分に確保した。			
	関係機関との連携	各関係機関と協議・調整を実施した。			
	実施体制	ケースワーカーと健康相談員が連携し、健診受診勧奨を行うことができた。			
プロセス	評価指標	評価			
	事業周知の方法	全被保護者世帯への健診制度の周知を予定していたが、コロナ禍により神戸市市民健診にも影響が出ることが想定されたため、重点勧奨者に対して事業周知及び事業勧奨の案内チラシを郵送発送し、一定の周知につながった。			
	健診受診券の発行方法	毎年8月頃に重点勧奨者に対して、がん検診とセットになった健診受診券を郵送発行した。十分な健診受診期間を確保できたため、発行時期については適切であった。			
	受診勧奨の方法	受診券発送後、個別にケースワーカーと健康相談員が連携し、勧奨できており、適切であった。			
アウトプット	評価指標	評価			
	受診券一括送付	R2年度：12,252	R3年度：12,640		
	健診受診件数	R2年度：1,167	R3年度：1,141		
	個別受診勧奨数	R2年度：2,788	R3年度：1,994		
アウトカム	評価指標	目標値	ベースライン（H30年度）	R2年度	R3年度
	健診受診率	7%	1.13%	9.52%	9.03%

考察

考察
・健診受診勧奨の周知、受診券発送など適切かつ十分に行えたため、被保護者の行動変容につながったと考えられる。その結果、健診受診率は目標値の7%を大幅に上回りおよそ9%となった。 ・健診受診率が向上したことにより、生活習慣病の早期発見につながり、早期受診や生活習慣改善に向けた介入の機会として有効であった。 ・若年層において、国保と比較し生活習慣病に係る医療費は高い。平成30年度と比較すると、60歳未満の脳血管疾患の1人あたり医療費が増加しており、生活習慣病への対策強化が必要である。
事業継続の有無・見直しと今後の方向性について
・健診受診者は大幅に増加し、目標を達成した。健診受診者の特徴を分析することで、より効果的な健診受診勧奨を目指す。 ・健診受診勧奨で受診者数が増えたことにより、要医療者を把握することができた。引き続き受診者数を増加させることにより、生活習慣病の早期発見・早期治療につなげていく。 ・健診受診率について、データヘルス計画策定当初の目標（7%）を達成したため、新たに目標を10%に再設定し、健診受診率の向上を目指す。

(2) 医療機関受診勧奨

事業名	医療機関受診勧奨
目的	健康寿命の延伸、自立に向けた健康管理
目標	適正受診による重症化予防
事業内容	健診結果「要医療」者への受診勧奨、治療中断者等への受診勧奨、継続受診の状況確認
対象者	健診の結果「要医療」と判定された者及び、治療中断者（次の①～②いずれかに該当）①糖尿病の投薬治療を受けており、高脂血症、高血圧の傷病名があるが直近の3か月以上で当該疾病のレセプトがない者、②糖尿病性腎症・慢性腎臓病（CKD）の病名があるが、直近の3か月以上で当該疾病のレセプトがない者

事業評価・実績等

ストラクチャー	評価指標	評価			
	予算の確保	事業執行に必要な予算を十分に確保した。			
	委託事業者との連携	委託による抽出を行うことでの確かな勧奨リストの作成ができた。			
	実施体制	ケースワーカーと健康相談員が連携し、医療機関受診勧奨を行うことができた。			
プロセス	評価指標	評価			
	受診勧奨の方法	ケースワーカーと健康相談員が連携しながら、訪問または電話にて受診勧奨を行った。必要に応じて、通院同行するなど、方法としては適切であった。			
	受診勧奨の時期	令和3年度には6月・11月と2回に分けて、リストを抽出し、受診勧奨を行っており、勧奨期間や勧奨回数を十分に確保することができ、適切であった。			
	保健師との連携	適宜、必要な情報連携は行ったが、新型コロナウイルスの影響もあり、十分な連携ができたとは言えない。			
アウトプット	評価指標	評価			
	受診勧奨件数	R2年度：20件	R3年度：（1回目）51件	（2回目）72件	
	受診勧奨率	R2年度：95.2%	R3年度：（1回目）91.1%	（2回目）100.0%	
	継続受診状況の確認件数	R2年度：4件	R3年度：（1回目）19件	（2回目）27件	
アウトカム	評価指標	目標値	R2年度	R3年度（1回目）	R3年度（2回目）
	医療機関受診率	100%	52.4%	51.8%	31.9%
	継続受診率	80%以上	—	—	—

考察

考察
・健診受診により把握された要医療者、治療中断者等に対して自立した健康管理を目指した、医療機関受診勧奨を実施できた。 ・対象者への医療機関受診勧奨の方法、時期ともに適切であった。医療機関受診率は目標値を大きく下回っており、未受診や治療中断となっている要因は何か、個人ごとにより適したアプローチが取れないか等精査、検討が必要である。 ・継続受診状況の確認件数及び継続受診率については、受診者の診療内容の追跡が前提となり、把握が困難であると思われる。
事業継続の有無・見直しと今後の方向性について
・医療機関受診率は、レセプトのみによる受診状況の確認であり、目標値や評価方法が適切か検討が必要である。 ・継続受診状況の確認件数及び継続受診率については、考察記載理由より困難であるため、評価項目としては継続受診率は算出しないものの、治療が必要な者については、継続受診に至るよう引き続き指導を行っていく。 ・医療機関等の関係機関と連携を強化し、さらに受診勧奨を行う。

(3) 生活習慣病重症化予防

事業名	生活習慣病重症化予防
目的	健康寿命の延伸、自立に向けた健康管理支援
目標	介入による行動変容100件/年
事業内容	生活習慣病重症化予防の対象者の把握、保健指導が必要な者への対応、生活習慣病の重症化予防のための指導に関する研修
対象者	主に糖尿病性腎症及び慢性腎臓病の者、健診結果から生活指導や保健指導が必要だと考えられる者、治療コントロール不良者

事業評価・実績等

ストラクチャー	評価指標	評価			
	予算の確保	事業執行に必要な予算を十分に確保した。			
	委託事業者との連携	対象者の抽出や訪問型保健指導の実施において、それぞれ委託事業者と適切に連携することができた。			
	実施体制	委託先事業者とケースワーカー及び健康相談員が連携し、適切に事業を実施することができた。			
プロセス	評価指標	評価			
	事業勧奨の方法	レセプトデータや健診結果から生活習慣病重症化予防の対象者を抽出し、ケースワーカーと健康相談員が連携し、被保護者への訪問型保健指導への参加勧奨を電話や訪問により行うことができ、方法としては適切であった。			
	事業実施の方法	訪問型保健指導の参加者に対して、委託事業者と連携し、適切に保健指導を実施した。また生活習慣病予防のための生活指導に関する知識の向上のため、健康相談員を中心とした研修を年2回適切に実施することができた。			
アウトプット	評価指標	評価			
	対象者の把握	R2年度：309人 R3年度：1,644人			
	事業勧奨	R2年度：59件 R3年度：561件			
アウトカム	評価指標	目標値	R2年度	R3年度	
	事業参加者数	—	32人	50人	
	介入による行動変容	100件/年	28件	44件	

考察

考察
・介入による行動変容の目標値について、本事業の参加者数が不明ななか設定した件数であり、事業の評価指標としては適切でないと思われる。 ・事業参加者の90%ほどは行動変容（生活習慣の改善や適切な治療行動）に結び付き、支援による一定の効果がみられた。一方で、令和3年度において事業勧奨件数に対する事業参加者が9%にとどまっており、参加率の向上という課題も見えた。
事業継続の有無・見直しと今後の方向性について
・今後の評価指標については、本事業の参加者に対する行動変容の割合として100%を目指す。 ・事業勧奨の方法の見直し、対象範囲の拡大を検討し、重症化予防事業の参加率の向上とともに、介入による年間行動変容件数の増加を目指す。 ・事業終了後もフォローが必要な事業参加者については、健康相談員やケースワーカーが関係機関とも連携しながら実施していく。

(4) その他の取り組み

事業名	事業内容
頻回受診者対策	1. 頻回受診者の定義 ①年4回の把握月に15日以上受診している者 ②3か月（把握月＋前月＋前々月）で40日以上受診している者 ※①②をともに満たす者を受診状況把握対象者とする ※個別に主治医や嘱託医に確認し指導の必要ありとされた者を頻回受診者とする 2. 対応 ・通院台帳を整備 ・嘱託医、主治医に通院頻度について確認 ・必要な頻度を超える通院が行われている者に対し、ケースワーカーが個別に指導 ・指導以後の改善状況を確認し、改善していない場合は指導を継続
重複受診・ 重複服薬者対策	レセプト点検で重複診療・重複処方の疑いのあるレセプトを抽出。福祉事務所ケースワーカーが受診医療機関への連絡や対象者への指導を実施。指導後、レセプトを確認し、改善状況を把握する
長期入院患者 退院支援	病状的に退院可能であるにも関わらず、長期入院になっている患者に対して、退院支援員が対象者の病状聴取及び退院阻害要因を把握、対象者への助言・指導、関係機関との連絡調整など、退院後の生活が安定できるよう積極的な退院支援を行う
医療機関個別協議	生活保護指定医療機関との個別協議を行う
レセプト点検	医療扶助レセプトの資格、内容について点検する
COPD 対策 (禁煙指導)	・保健指導の機会に、禁煙指導を併せて行う ・禁煙ができない者のうち、咳・息切れがあり、痩せなどの体重減少が見られる者に対し、早期に呼吸器内科を受診させるなど支援を行う
PHR の活用	・MY CONDITION KOBE（マイコンディション神戸）など PHR（パーソナルヘルスレコード）の活用を勧奨する ※令和4年度で事業が終了する

7. データヘルス計画策定時の課題と中間評価を踏まえた今後の方向性

＜平成30年度の課題 1＞	
・ 健康意識の低さなどから、健診受診率が低く、健康状態が把握できていない	
＜現状・評価（令和4年度）＞	＜今後の方向性＞
- 健康意識の向上にもつながり、健診受診率は約1%から約9%と改善した。 - 健診受診者が増加したことにより、要医療者を把握することができた。	- 引き続き健診受診勧奨を実施することで健康状態の把握を推進する。 - 健診受診者の特徴を分析することで、より効果的な健診受診勧奨を目指す。 - 健診受診率について、データヘルス計画策定当初の目標（7%）を達成したため、新たに目標を10%に再設定し、健診受診率の向上を目指す。

＜平成30年度の課題 2＞	
・ 国保と比較して、若年者でも生活習慣病の疾病割合が高い	
＜現状・評価（令和4年度）＞	＜今後の方向性＞
依然として国保と比較して、若年層でも生活習慣病での受診者割合が高く、1人あたり医療費も高い傾向にある。特に、壮年期の「脳血管疾患」や「糖尿病」の1人あたり医療費が増加した。	- 重点勧奨者へ個別受診勧奨を継続して行う。 - 若年層での生活習慣病を予防するため、関係機関と連携を強化し、効果的な事業を検討していく。

＜平成30年度の課題 3＞	
・ 適切な治療行動（継続通院・服薬、栄養・運動管理）がとられていないと考えられる	
＜現状・評価（令和4年度）＞	＜今後の方向性＞
- ケースワーカーと健康相談員が連携しながら、訪問または電話にて受診勧奨を行った。必要に応じて、通院同行するなど、適切な方法で支援を行えた。 - 適宜、必要な情報連携は行ったが、新型コロナウイルスの影響もあり、医療機関、保健事業担当課、民間事業者、ケースワーカーなどの連携が十分できていたとは言えない。 - 生活習慣病重症化事業参加者の90%ほどは行動変容（適切な治療行動）に結び付いた。一方、事業勧奨件数に対する事業参加者が9%と低い。	- 関係機関との連携、効率的かつ効果的な支援を継続して行う。 - 勧奨方法の見直し等を検討し、参加率の向上を図る。 - 継続して、医療機関、保健事業担当課、民間事業者、ケースワーカーなどが連携し、保健指導を実施する。

＜平成30年度の課題4＞	
・ 重複受診、重複服薬	
＜現状・評価（令和4年度）＞	＜今後の方向性＞
・ 重複受診、処方ともに平成30年度から減少傾向がみられたが、重複受診、服薬の割合を国保と比較すると、高い傾向にある。 ・ 平成30年度から引き続き、睡眠障害、生活習慣病による重複受診、睡眠薬の重複服薬が目立っている。 ・ 新型コロナウイルス感染症による間接的な受診抑制などもあったため、適切な評価が難しいが、令和元年度から令和3年度にかけて1か月間の1人あたり入院外受診日数はわずかに減少した。	・ 他課との連携を取り、重複服薬者、頻回受診者、重複受診者への適切な指導を継続する。

＜平成30年度の課題5＞	
・ （経済的、身体的、精神的な）複合的な課題を抱えた被保護者が多く、健康管理支援だけでなく総合的な支援が必要	
＜現状・評価（令和4年度）＞	＜今後の方向性＞
・ 委託先事業者とケースワーカー及び健康相談員が連携し、被保護者の支援、保健指導の実施を行えた。 ・ 生活習慣病予防のための生活指導等に関する知識の向上のため、健康相談員を中心とした研修を年2回実施した。	・ 高齢世帯、単身世帯の増加傾向が強く、被保護者の課題は複合的になることが予想される。引き続き関係機関との連携を行い総合的な支援を目指す。

＜平成30年度の課題6＞	
・ 職員（福祉事務所、保健事業担当課）の効率的かつ効果的なアプローチが求められる	
＜現状・評価（令和4年度）＞	＜今後の方向性＞
・ 民間事業者を活用し、レセプト等データ分析を行い効率的に生活習慣病重症化予防の対象者の抽出を行った。	・ 民間事業者の活用を継続し、レセプト等データ分析を行うことで支援の効率化を図る。 ・ 健康相談員やケースワーカーが関係機関と連携しながら、効果的な健康管理支援を目指す。

8. データヘルス計画の推進及び計画の見直し

(1) 最終評価及び計画の見直し

計画の最終年度である令和7年度に、レセプト管理システム、生活保護システムなどの情報を活用し、本計画書に定めた保健事業の実施計画について、事業ごとに結果（アウトカム）、事業実施量（アウトプット）、過程（プロセス）、体制・構造（ストラクチャー）をそれぞれ検証のうえ評価を行い、次期計画の策定につなげる。

また、計画の期間中においても、目標の達成状況や事業の実施状況の変化などにより、必要に応じて見直しを行う。

(2) 中間評価の公表・周知

本中間評価を神戸市ホームページに掲載して広く周知を図る。また、実施計画を改定した場合も同様とする。

(3) 個人情報の保護

本計画書に定めた保健事業の実施にあたっては、個人情報保護の観点から下記の規定を遵守する。

- ・ 神戸市個人情報保護条例（平成9年10月条例第40号）
- ・ 神戸市個人情報保護条例施行規則（平成10年3月19日規則第80号）
- ・ 神戸市情報セキュリティ基本方針
(平成15年1月27日制定 令和4年3月28日改正)
- ・ 神戸市情報セキュリティ対策基準
(平成15年1月27日制定 令和4年3月28日改正)
- ・ 電子計算機処理に係るデータ保護管理規程（平成17年5月31日訓令甲第2号）

神戸市生活保護医療扶助関連事業実施計画（データヘルス計画）
（令和２年度～令和７年度）

中間評価（令和４年度）

作成：神戸市福祉局保護課医療担当

〒６５０－８５７０

神戸市中央区加納町６－５－１

電話：０７８－３３１－８１８１